

ロータリーの友

Rotary

2

2024

February

JAPAN

www.rotary-no-tomo.jp

平和構築と紛争予防月間

平和は
学び、知ることから

千玄室さん

100歳を迎えて

ロータリー行動計画



より充実した奉仕プロジェクトを
実施したいとお考えですか？
ロータリーの行動計画をご参照ください



より大きなインパクトをもたらそう
rotary.org/actionplan

CONTENTS

2 月は 平和構築と紛争予防月間
23 日は ロータリー創立記念日

 R I 会長メッセージ	4
R I 会長 ゴードン R. マッキナリー	

特集 平和構築と紛争予防月間	7
-----------------------------	---

平和は学び、知ることから

武田中学校高等学校 I A C /

宮崎アカデミー R C 明石 良 /

第 2710 地区 インターアクト委員長 佐古隆司

ロータリー平和フェロー :

カルロス・マリオ・ナバレテ / ルツ・M・カレノ /

ヤニナ・ヤスパー

ロータリー研究会	16
千 玄室さん 100 歳を迎えて	

6	● ロータリーとは
26	● People of action around the globe
28	● ROTARY AT WORK
41	● バズル de ロータリー / 詰め将棋
42	● エバンストン便り
43	● 2024 年国際大会 
	● 財団管理委員長からのメッセージ 
44	● バズルの答え / 詰め将棋の答え / 内外よろず案内
45	● お知らせ 新クラブ / ロータリー衛星クラブ / 2024 - 25 年度版『ロータリー手帳』のご案内 / 地区別クラブ数・会員数一覧表 / 『友』3 月号主要記事予定
46	● 日本ロータリー分布図 / 奥付

PICK OUT PROJECT	19
END POLIO NOW	

視点 ガバナーのロータリー・モメント	20
--------------------------	----

第 2500 地区 鶴見誠一郎 / 第 2510 地区 松浦光紀 /
第 2520 地区 森川昭正 / 第 2530 地区 右近八郎 /
第 2540 地区 淡路 徹 / 第 2550 地区 三井福次郎 /
第 2560 地区 米山忠俊 / 第 2570 地区 高丹秀篤

よねやまだより	24
---------------	----

米山から世界の町へ ②⑧

ボリビア・ラパス

地区大会略報 III	36
第 2560 地区 / 第 2820 地区 / 第 2590 地区 / 第 2530 地区 / 第 2550 地区 / 第 2600 地区 / 第 2640 地区 / 第 2710 地区 / 第 2760 地区 / 第 2770 地区 / 第 2800 地区	

ELEVATE ROTARACT	39
広島ローターアクトクラブ	

NEW GENERATION	40
ローテックス 砂川 丞 / 米山奨学生・ローターアクター タクツラ・ジャガト	



A virtuous cycle

I am enthused and encouraged by your embrace of mental health initiatives throughout the Rotary world. More than 1,000 of you have responded so far to an ongoing survey by the Rotary Action Group on Mental Health Initiatives, offering your feedback on what Rotary can do to improve the personal well-being of members.

The top suggestions are illuminating. Rotary members are asking for more fellowship, camaraderie, conversation, cohesiveness, and connection. They also want more recognition, validation, and integration. They are seeking more service opportunities, and they want more wellness activities, including mental health speakers, awareness efforts, and education.

Our members not only appreciate the greater focus on mental health, but they also believe that making more of the Rotary experience will materially improve their lives. I find it interesting that members are not asking anything dramatically new of their club — rather they want more of what we do best. For example, connection can be improved during meetings simply by assigning seating once each month to encourage people to speak with someone new.

Here are some great ways that we can help achieve these results and make Rotary more appealing to those considering membership. First, we need to acknowledge the importance of increasing belonging in our clubs and to encourage Rotary members to make the most of every opportunity for new and stronger connections. Public health experts worldwide are concerned about increasing levels of loneliness — the U.S. surgeon general has even declared it an epidemic. Mental health experts agree that finding groups and clubs around common

hobbies and interests is a strong way to create greater connectedness. This is what Rotary is all about. We need to make sure all of our members are fully engaged and that our communities are better aware of this inherent strength.

Second, if your club has found new ways to build connection, please share your stories with us at mindhealth@rotary.org so we can make them more broadly known within the Rotary world. Your good ideas might inspire others. Post your service project stories on Rotary Showcase.

And finally, I encourage you to share feedback from surveys like this with your club and bring forward your own ideas to improve your club experience and meet your peers' expectations. The journey we have begun is about more than mental health. It is about taking advantage of the full strength of our wonderful organization and helping all members feel that they are part of a community that cares deeply about their personal well-being.

Everything you do to strengthen connections in Rotary, with each other and the people we serve, also helps improve mental health. And everything we do to improve mental health helps strengthen those connections. Let's continue this virtuous cycle.

R. Gordon R. McNally
President, Rotary International

PRESIDENT'S MESSAGE

RI会長メッセージ

RI 指定記事

「好循環」を生み出す

私は、世界中の皆さんがロータリーを通じてメンタルヘルスのための活動に取り組んでいることに、励まされています。ロータリー行動グループの一つ、メンタルヘルス・イニシアチブが実施したアンケート調査に 1,000 人以上の会員が回答。会員個人の幸福度を上げるため、ロータリーは何ができるか、意見を提示しています。

回答から浮き彫りになったのは、ロータリーの会員がより多くの親睦や連帯、対話、結束、つながりを求めていることです。同時に認められ、受け入れられ、仲間になりたいと感じています。さらに、より多くの奉仕の機会や、メンタルヘルスに関する講演や啓発、教育といったウェルネスのための活動の機会を求めています。

ロータリー会員は、メンタルヘルスへの着目を評価するだけでなく、それによってロータリーでの体験、自身の生活も向上すると考えています。興味深いのは、所属クラブに対して何か劇的に新しいことを求めているのではなく、身近なところで取り組めることをしたい、と感じていることです。例えば月に 1 回、例会で座る席を替え、それまで話したことのない会員と話す、というシンプルな試みによって、会員同士のつながりをさらに深める、といったことです。

活動に成果をもたらし、ロータリーへの入会を考えている人たちを引きつける方法を紹介しましょう。まず、クラブへの帰属意識を高めることの重要性を認識し、会員が新たに有意義なつながりを見つけるための機会をつくりましょう。公衆衛生の専門家は、孤独感の深まりを懸念しており、アメリカに至っては、公衆衛生局長官が「それは伝染病だ」と言明しています。共通の趣味や関心を土台とす

るグループやクラブを見つけることは、より強いつながりを築く有益な方法である、というのがメンタルヘルスの専門家の見解です。この見方はまさにロータリーにも当てはまります。ロータリーの会員が皆、地域社会へ積極的に参加すれば、私たちロータリーが持つこの強みを、地域社会は認識するということです。

そして、つながりを築く新たな方法を見つけた方は、そのストーリーを mindhealth@rotary.org までお送りください。あなたのアイデアが、他の会員にインスピレーションを与えるかもしれません。また、ロータリーショーケースに奉仕プロジェクトを投稿しましょう。

最後に、今回のようなアンケート調査の結果をクラブでシェアし、クラブでの体験を向上させ、会員の期待を満たすような独自のアイデアを考えていただきたいと思います。私たちが始めた旅は、メンタルヘルス以上の目的を持っています。ロータリーという素晴らしい組織の強みを最大限に生かすこと、そして自分は個人の幸福を心から大切にするコミュニティーの一員であると、全ての会員に感じてもらえるよう支援していくことです。

皆さんが行う全てのことが、ロータリーでのつながりを強めます。このつながりとは、お互いのつながり、奉仕する相手とのつながりであり、これがメンタルヘルスの向上につながります。メンタルヘルスの向上のために行う全てのことが、こういったつながりを強めていくのです。この「好循環」を維持していきましょう。

ゴードン R. マッキナリー

2023-24年度 国際ロータリー (RI) 会長

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語って、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それから、志を同じくするロータリークラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数37,123、会員総数1,186,961人（2023年12月18日国際ロータリー公式発表）に達しています。このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

なお、世界中のロータリークラブとローターアクトクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,206、会員数84,497人（2023年11月末現在）となっています。

2023－24 年度会長テーマ



世界に希望を生み出そう

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

特集 平和構築と紛争予防

平和は 学び、知ることから



世界各地で争いが絶えない中、ロータリーで何ができるでしょうか。
日本にしながら、紛争地で生きる人と接し、交流することで、手を差し伸べる会員がいます。被爆地である広島会員は、未来を担う若者たちに平和と戦争について思いを巡らす機会を提供しています。

平和とは何か。今、私たちも、改めて平和を学び、知ることから始めませんか。



武田中学校高等学校IAC顧問 加藤 智威

東日本大震災の際に、パレスチナ自治区ガザ地区の人たちが、被災者を励まそうと、たこを揚げてくれたことがありました。それをきっかけに始まった交流が、縁あって当クラブにもつながり、ガザの中学生とのオンライン交流が始まりました。元々、武田中学校高等学校インターアクトクラブ（IAC）では、ガザでの教師経験を持つ顧問のアシュリー・サウザー先生（アメリカ出身）が、以前より生徒たちにガザ地区の状況を話してきたことから、生徒たちの関心は高く、オンライン交流とはいえ、リアリティーのある体験となっています。

続くガザ地区の中学生とオンラインで交流

オンライン交流では、しばしば将来の夢の話になります。ガザの子どもたちは「医者になって地域の人々を助きたい」「学校の先生になって子どもの学力を高めたい」「エンジニアになりたい」など、明確な夢を語ります。対して日本の子どもたちは「自分たちは何でもできるのにやりたいことが分からない。ガザの子たちは夢があってすごい」と感想を述べます。

そんな折の2023年10月6日、ガザに住む3人の中学生と直接交流できる機会に恵まれました。日本が国連パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）の支援70周年記念事業として、ガザの子どもたちが日本を訪れるツアーが催行されることになり、これまでガザの中学生と交

流を持ってきた本校に声がかかったのです。

若者の国際交流が生み出す「平和」

交流会の1時間目、本校グローバルスタディーコース（GSコース）の生徒による箏の演奏に始まり、当クラブがこれまで行ってきたガザ地区との交流の歴史、GSコースが独自に行う平和学、広島学を紹介。2時間目は、ガザの子どもたちが柔道を体験。柔道部員から、柔道の精神、受け身の重要性、技のかけ方などの説明を受け、ガザの子たちは、生まれて初めて柔道着を着て、受け身や大外刈りに挑戦しました。ガザでは、体育で格闘技、ましてや女子が格闘技をすることは珍しいようで、熱心に、そしてうれしそうに取り組んでいました。その後、美術部員のサポートの下、トートバッグに自分の好きなアニメのキャラクターをデザイン。ドラえもんやピ



声

■ インターアクター 俵 瑚乃未 (高2)

教育が当たり前ではない、ということを改めて実感した。普通に学校に行き、部活をし、家族のいる家に帰ってご飯を食べ、勉強し、お風呂に入って寝る。私たちにあって普通のことが、どれだけ幸せでどれだけありがたいことなのかを痛感した。同時に、ガザの子たちはどれだけ強いんだろうとも思った。いつも恐怖と隣り合わせで生活し「私たちにあって教育は酸素で一つの希望」という言葉には心を打たれた。「勉強なんて面倒くさい」「やりたくない」なんて言ってる自分が恥ずかしくなった。この平和な日本と普通の日常に感謝して生きていこうと思った。

■ インターアクター 芥川 結衣 (高2)

日本から贈られたノートやチョップのぬいぐるみ、縄跳びなどが入ったバッグをととても大切に笑顔で紹介するのを見て、とても温かい気持ちになりました。けれど、三人が平和記念資料館を訪れた時「これは私たちの日常」「見たことがある」と言ったり、中学生とは思えない大人びた様子を見せていて、何とも言えない気持ちになりました。私は広島で育って原爆について学ぶことも多かったけれど、実際に体験したことがありません。今回の交流で、ガザ地区の子たちは、どんなに苦しい環境でも、希望を見いだして前を向いて進む強さを持っている人たちだと分かりました。

■ 柔道部 藤猪 結愛 (中3)

言葉が違っていても仲良くなれる、友達になれると知りました。ガザから来た三人は、私と同じ中学3年生。そのせいか、すぐ仲良くなることができました。写真を撮り、連絡先も交換しました。そのうちの一人、JenanさんのInstagramでは、戦争のことがいつも投稿されています。友達が危険な状態にあることは想像できません。ですが、彼女は発信を続けています。まず、周りに知ってもらうことから。少しでも彼女たちの心の支えになりたいです。

■ 美術部 有谿 譲葉 (高1)

一緒にトートバッグを作っている時、純粋で笑顔がかわいらしい優しい子たち、という印象を受けた。ガザでは美術の授業が行われていないのに器用にクレヨンを使い、色のバランスをうまく取る様子に彼女らの可能性を感じた。私たちと同じような環境に生まれていたらもっと能力を発揮できただろうに、と世界の不公平さを思い知った。三人それぞれが夢や心境を真剣に話す様子と、楽しそうにトートバッグを製作する姿とのギャップが大きくて驚いた。これまで非常に過酷な環境で生きてきたにもかかわらず、純粋さを忘れず、真つすぐ生きる姿に感激し尊敬する。彼女らの夢が、いつかかなうことを願いたい。

カチュウなど日本のアニメキャラクターを選び、作業に打ち込んでいました。日本のアニメに興奮する様子に、子どもらしさを垣間見ることができました。

そしてメインイベント「ガザの声を聞く」。日々感じていることや、世界に向けてのメッセージを発表してもらいました。日々、命の危機にさらされていること、近しい人々の死、電気が1日6時間しか使えないこと、ガザ地区から自由に外出できないこと。特に「私たちが望んでいることは、皆さんが当たり前持っている『人権』を与えられることです」という言葉は印象的でした。そして口々に教育の重要性やありがたさ、教育こそが希望の光だと話していました。生まれた時から紛争下で常に厳しい状況に置かれながらも、希望を持って将来の目標を力強く語るガザの生徒たちは、インターアクターをはじめ、本校生徒に大切な学びを与えてくれました。

交流翌日、紛争勃発。他人事なんかじゃない

くしくもこの交流があった翌日の10月7日、パレスチナを実効支配しているハマスがイスラエルに攻撃を仕掛ける形で、パレスチナとイスラエルの大規模な紛争が勃発。生徒たちはもう他人事として考えられず、ただただ安否が気かりで不安な数日を過ごしていました。交流した三人が、隣国ヨルダンで無事であるという一報が入ると、生徒たちは安堵していました。しかし、三人のうちの1人の友人が空爆で亡くなったと聞いていたたまれない気持ちになり、戦争の理不尽さ、悲惨さに憤り、打ちひしがれることとなりました。

数年前、ガザの小中学生と一緒にいったアートコンテストで現地の子どもたちが描いた多数の絵画を、今回UNRWAの方が直接届けてくれました。もはや、これらの絵を描いた子どもたちの消息は分かりません。当クラブも何かできないかと、より多くの人に考えるきっかけを持ってもらうため、広島平和記念資料館にて、これらの絵の展示会を計画しています。広島に生まれ、平和について学ぶ者として、これからもメッセージを発信していきます。

(第2710地区 広島県)





日本で学んだ アフガニスタン難民を救う

宮崎アカデミーRC会長 明石 良

紛争による厳しい治安情勢が続くアフガニスタンへの復興支援として、日本では、2011年にアフガニスタンの「未来への架け橋・中核人材育成プロジェクト」（通称P E A C Eプロジェクト）が発足。母国の将来を担う若者への教育支援として、日本や国際協力機構の協力で、数多くのアフガニスタン人が日本で学んでいます。宮崎大学でも、このプロジェクトの留学生を約50人、受け入れています。

1年しか日本にいられないアフガニスタン難民

21年、アフガニスタンでは前政権が崩壊した後に反政府勢力が政権を握り、それまで民主主義教育を受けていた人たちが窮地に追い込まれました。脅迫や迫害を受ける中、アフガニスタン出身の宮崎大学元留学生は大学に助けを求めました。それに応え、大学教授らは自らの研究費などから捻出し、彼らを学業を続ける身として受け入れました。これを機に、宮崎大学の教授や職員、地元企業の経営者などの会員から成る宮崎アカデミーRCをはじめ、県内のロータリーの会員が動き出し、当クラブの公共イメージ・奉仕プロジェクト委員会の勢井由美子会員と宮崎大学農学部長の隈元正行会員らを中心に「アフガニスタン人道支援活動」が始まりました。

日本は、ウクライナ避難民への対応は行っているものの、他の国の扱いは流動的です。アフガニスタンから逃れてきた人が日本に住める期間は1年。受け入れ先での具体的なサポートは民間団体やNGOが受け持ちますが、入国から1年間で日本語を習得し就職先が見つからなければ、彼らはアフガニスタンに帰されて命の危険にさらされることになります。

国境を超えた交流こそ平和につながる

当クラブが行う主な活動は、人道支援に関する啓発を目的としたコロキウム（討論会）の開催と、逃れてきたアフガニスタンの人たちのための月1回の食料配布。コロキウムは22年に初めて開催し、文化交流や学生ボランティアの参加、マスコミ取材によるアフガニスタン難民の認知度向上など多くの副産物がありました。さらに、宮崎大学の学生ボランティアによる「にほんごでしゃべろう会」と当クラブの隈元会員が教える日本語教育、ボランティアや寄付金も募っています。

22年11月には、元留学生全員の就職先が決まり、宮崎県の西都市と都城市に移住できることになりました。就職先のうち1社は、コロキウムに参加した人が経営する会社でした。特筆すべきは、通常アフガニスタ

原爆を疑似体験

第 2710 地区インターアクト委員長 佐古 隆司
(広島南RC)

井内康輝ガバナーの信条「平和の種をまこう!! ロータリアンにできること」に、第 2590 地区(神奈川県)の樋口明ガバナーが呼応して生まれた、2 地区合同の「平和学習会 in 広島」が 12 月 26



日、広島にて開催されました。学習会には、神奈川、広島、山口のインターアクター 71 人、顧問教師 14 人、ロータリアンなど計 108 人が参加しました。

最初に、8 歳で被爆した八幡照子氏から戦争体験を伺いました。あの日から 78 年の歳月を経てなお強烈な記憶、インターアクターも涙を拭いながら、それでも一生懸命に耳を傾けていました。

次に、映像で被爆時を疑似体験できる VR (バーチャルリアリティ) ゴーグルを使って、広島平和記念公園を巡りました。この VR ツアーは井内ガバナーが企画・開発に参加し、旅行会社のたびまちゲート広島などの協力で実現したもので、被爆当時と現代を行き来することで、戦争の恐ろしさと平和の尊さを体感できます。広島平和記念資料館では、原爆について詳しく学習。悲惨なシーンもありましたが、インターアクターは目を背けることなく受け止めていました。

最後に「原爆の悲劇をどのように後世に伝えるか?」というテーマでグループ討議。本当にあっという間の 1 日で、話は尽きることなく、名残惜しく連絡先を交換するインターアクターもいました。

世界中で紛争が絶えない今、ここでインターアクターが学んだことは必ず平和の種となり、未来を動かしていくことと確信しています。

(第 2710 地区 広島県・山口県)



VR体験「PEACE PARK TOUR VR」
の詳細はこちら→



ページ左:アフガニスタン避難民の子どもたちの意見発表を聞く会員たち 上:アフガニスタン元留学生と支援を行う隈元会員(左前)。隈元会員はウクライナ避難民への支援も行っています



宮崎県西都市に住むアフガニスタン人に食料を配布する宮崎アカデミーRCの会員たち

ンでは女性が働いてお金を稼ぐことができない社会です。しかし、家族として来日した女性が、縫製工場のアルバイトとして報酬を得られ、「奇跡だ!」と喜ぶ姿に会員たちも感激しました。

人々に笑顔をもたらすことこそ人道支援

23 年 10 月 29 日、コロキウムパート 2 を地区補助金を活用して開催。元留学生が「アフガニスタンの現状」と題して、これまでの宮崎での生活や現状などについて語り、その後、アフガニスタンと日本の未来のための持続可能な支援などについて、元留学生を含む登壇者と共に意見交換を行いました。質疑応答では会場に参加していたロータリアンや西都市長から多くの意見や感想が得られました。来日した小学生にも話を聞き、「学校で一番難しいのは漢字」、好きな漢字は「水」「歌」などと答えていました。「何か困ったことはないか?」の質問では「何も困ってない」という子どもの返事に、会場から拍手が湧きました。子どもは日本語の習得が早く、流ちょうな日本語の受け答えに通訳がいらないほどで、会場は笑いと涙でいっぱいでした。

こうした人道支援活動が全国のロータリークラブに広まっていくことを願っています。(第 2730 地区 宮崎県)



photograph : Carlos Mario Navarrete, Rotary Peace Fellow, ICU

広島を訪れた 平和フェローは何を見て 何を感じたのか

ロータリー平和フェローシップとは？

平和構築と開発の担い手となる人材を育成するために、ロータリー財団から授与される奨学金（フェローシップ）で、毎年、世界で130人が選ばれます。この奨学金を授与された人をロータリー平和フェロー（以下、平和フェロー）と呼びます。応募には、この分野での活動経験が求められます。

どこで学ぶの？

平和フェローは、世界各地の8つの大学に設置されている、7つの平和センターで学びます。

デューク大学およびノースカロライナ大学チャペルヒル校（アメリカ）、ブラッドフォード大学（イギリス）、クイーンズランド大学（オーストラリア）、ウプサラ大学（スウェーデン）、そして日本の国際基督教大学（ICU）で、平和と開発に関する修士号取得プログラムを、マケレレ大学（ウガンダ）とバチシェヒシュ大学（トルコ）では、平和と開発に関する専門能力開発修士証プログラムを提供しています。

これまでに1,700人以上の平和フェローがロータリー平和センターを卒業し、140カ国以上で活躍し、政府、NGO、教育、研究機関、平和維持および法執行機関のほか、国連や世界銀行といった国際機関でリーダーシップを発揮しています。

ICUでの平和センターではどんなことをしているの？

東京三鷹市にあるICUの平和センターでは、紛争や開発に関する問題解決スキルの養成と、国際平和の実現、および国際協力の発展に向けた、積極的な取り組みを支援しています。特にアジアにおける平和構築の豊かな事例と、ICUが掲げる「信頼される地球市民の育成」教育を礎にしています。2年間の修士課程プログラムの中で、1年目に広島研修を実施。日本全国の会員からの協力金（会員一人当たり15円、合計130万円強）はこのプログラムに充てられています。現在ICUで学ぶ平和フェローは23人います。

詳細はこちら



*ICUの平和センターで学ぶロータリー平和フェローが英語で書いたレポートを友編集部で和訳、要約しました

広島が教えてくれること

カルロス・マリオ・ナバレテ

ICU平和フェロー第21期生(2022-24年)

歴史の陰影の中で、人間はなぜ原爆のような壊滅的な手段を生み出すのでしょうか。それは恐怖や不信に根差したものなのか、それとも憎しみや利己主義、競争、上下関係、支配のない世界を思い描くことができないからなのでしょう。今日、活気に満ちた広島は、私が日本で訪れた中で最も好きな都市の一つです。訪れた人を包み込むような広島に、私は独特の平和観をもたらす厳粛な静けさを見いだします。何万人もの人々が一瞬にして消え去ったあの壊滅的な瞬間の後、生命力が絶えることはありませんでした。人間の回復力は輝きを放ち、破壊の残骸の中で新たな創造を生み出し、悪夢が再び訪れないように声を上げました。しかし、悲しいことに、人間の争いは、世界のあちこちで暴力となって今も芽生えています。

私の祖国・コロンビアは、数十年にわたって内戦が続いています。この紛争では、半世紀を超える内戦が45万人以上の命を奪い、約10万人が行方不明となり、約900万人が国内避難民となり、数千人が誘拐され、約100万人が亡命を余儀なくされている、という痛ましい数字が報告されています。衝撃的なことに、これらの犠牲者の9割は非戦闘員の民間人であり、主に農村部に住む女性や子ども、そしてアフロ・コロンビア系や先住民族の血を引く人々とされているのです。

なぜ人間は互いに敵対するのでしょうか？なぜ人間は違いを受け入れようとしないのでしょうか？なぜ私たちは、生きる権利が階層化する現実をつくり出してしまうのでしょうか？広島とそこに住む人々は、私たちに深く「なぜ」を掘り下げるよう、示唆します。破壊や暴力は恣意的に起こるものではなく、意思決定、行動、感情、文脈に起因しています。そのため、私たちはこのような悲劇を防ぎ、回避する力を持っています。このような変化を起こす力は私たちの手の届くところにあります。痛み、苦しみ、そして愛する力が私たちを一つにするということは、私たちの持つ人間性の奥深さを紡いでいます。私たちの行動の背後にある理由を理解することは、極めて重要です。私たちは破壊すると同時に創造し、殺すと同時に夢を見る人間という生き物です。私たちが人間同士の対立という根強い現実に取り組んでいる時、広島の遺産は、私たちがどのような未来にコミットしようとしているのかを痛切に想起させてくれます。

人類の傷ついた心を修復することはできるのでしょうか？私は今も考え続けています。



広島平和記念資料館を見学するフェローたち



Carlos M. Navarrete: コロンビア・ボゴタ出身。平和構築、社会変革、開発のアドバイザー。コロンビア・ロスアンデス大学で言語・社会文化学を専攻し、学際開発研究センターで、コロンビアの武力紛争を研究した。キャリアとしては、平和のためのアイデア財団、InSight Crime、武力紛争と平和構築に関する研究プログラムなどに勤務経験がある。最近では、コロンビア平和高等弁務官事務所のチームの一員として、政府とFARC-EPゲリラの和平交渉に携わった。

現在の研究テーマは、過渡的司法プロセス、修復的実践、暴力の変革における真実の社会的役割など。フェミニズム理論、複雑系、精神的実践に焦点を当てている。



上：広島平和記念資料館で説明を受ける 下中央：平和の鐘について解説を受ける 下：原爆死没者慰霊碑に献花

過去の出来事から学ぶ

ルツ・M・カレノ

ICU平和フェロー第21期生(2022-24年)

ロータリー平和フェローとしてのハイライトの一つは、広島訪問でした。広島平和記念公園、原爆死没者慰霊碑、広島平和記念資料館を訪れ、被爆者の証言を聞き、被爆体験記の朗読会にも参加しました。

広島の旅は、私にとって忘れられない経験となりました。私たちは不当な行為を忘れず、そのような行為が二度と繰り返されないように積極的に取り組むことが重要です。今回の訪問で強く心を動かされたのは、被爆者が原爆投下時の体験について語るのを聞いたことと、被爆体験記朗読会です。体験談は平和のための強力なツールです。暴力や犯罪によって被害を受けた人々を敬う方法の一つは、彼らの話に耳を傾け、彼らが忘れ去られないようにすることです。また、歴史や現在起きている出来事について学ぶことも不可欠です。戦争や紛争によって被害を受けた人々、現在被害を受けている人々を忘れないようにしましょう。



Luz M. Carreño: メキシコ系アメリカ人として、移民や難民、若い女性のエンパワーメントプログラムに携わる。ユタ州ローガンのラテン系住民の意識向上のため、2014年からラテン系クリエイティブ・ソサエティーのメンバーとして活躍、映画「Logan, ¡Somos tus Vecinos!」でラテン系メンバーのインタビューなどに参加。20～22年、ソルトレイクシティの非営利団体 Women of the World でケースマネージャーとして、住宅差別、賃金の不均衡、英語力の低さによる不当な扱いに直面する女性を擁護。ユタ州立大学で社会学の学士号を取得。社会正義と世界平和を訴える。



平和の響き

ヤニナ・ヤスパー

ICU平和フェロー第20期生(2022-24年)

2023年3月、私たちは広島平和記念公園を訪れ、歴史上最も深刻な悲劇が落とす影の中を歩きました。この旅に参加した時、広島不屈の精神が私の中に響きました。

共同体験と文化的洞察

平和記念公園を歩きながら、原爆の激甚な影響を思い知らされました。この場所の厳粛さは、追悼の念と、このような惨禍を二度と繰り返さないという揺るぎない決意を私たちにささやいてくるかのようでした。街の変容に身を置きながら、私は伝統も現代的な取り組みも、原爆の前で途切れることなく続いていることに驚嘆しました。被爆者、特に小倉桂子さんの体験談は、戦争の悲惨さを鮮明に映し出し、意識に忘れたがたい痕を残しました。

個人的成長、学問的発展、研究への影響

広島で、人間の強さと平和へのコミットメントを目の当たりにしたことは、現在進行中の私の研究と共鳴していきます。実際に見聞きすることで、紛争の長期的な影響や平和構築についての理解が深まり、私の研究である強制移住の経験や復興、そして恒久的な平和の追求が形づくられました。被爆者の語りは、広島の変容と相まって、私の取り組みにインスピレーションを与えてくれました。

持続可能性への取り組み：集団的幸福と公正な成長の育成

広島の持続可能性への取り組みが、集団的幸福と公正な成長の原則と一致していることは、広島の経済的繁栄と環境的・社会的責任との両立を強調するものです。

最後に、私たちをもてなし、変化をもたらしてくれたロータリアンの皆さん、たくましく生き抜く被爆者の皆さん、そして広島に深く感謝します。この広島についての考察が、平和、相互理解、移行期正義（原爆のような大きな人権侵害に対し、受けた側が裁判を起こすなど対処していく試みのこと）が優勢となる世界に貢献するよう、私たち一人一人を鼓舞するものとなりますように。



上・左下：被爆者・小倉桂子さんから被爆体験を聞く



Janina Jasper: インクルーシブ教育の修士号、人道外交の分野のディプロマを持つ研究者兼アドバイザー。学術、人道、開発、政策分野で活動経験があり、かつては市民権・グローバルシティズンシップ教育に関する国際研究、UNHCR、セーブ・ザ・チルドレン・ドイツ、EU援助ボランティアプログラムとの共同研究に携わった。現在は、気候変動と移民を中心に、移行期正義と政治的アイデンティティについて研究。ロータリー平和フェローとして、人権と平和の推進における世界的な変化を導くことを目指している。

千 玄室さん 100歳を迎えて



2023年11月に開かれたロータリー研究会で、同年4月に100歳を迎えられた、国際ロータリー（R I）元理事の千玄室さんがスピーチされました。ロータリークラブに入会して69年になる千さんが考える平和とは？ ロータリーとは？



海軍航空隊として訓練に励んでいた頃
COURTESY OF THE URASENKE FOUNDATION

私の祖先である千利休が、約 500 年前、戦国時代に茶家として織田信長、豊臣秀吉に一盃のお茶をもってさまざまことをお教えしていました。それは、武を持った人には文が必要であるということです。「文とは、人をつくるもの、自分の生活を通じて人格や教養を高めていくものである」と。

一盃のお茶をもって、「^{わけいせいじやく}和敬清寂」。和は単なる平和ではありません。平和な世界のためには、愛が必要です。しかしその愛とは厳しいものです。なぜならば、忍耐、寛容、そして公平が必要とされるのですから。単に人を愛するだけではなくて、全ての人を包容していくというのが、一つの和。そこから「平和」というものが生まれる。そして敬。お辞儀をする。敬う。本当の敬とは、人

種差別、区別が一切ない。みんな公平。互いにあいさつを交わし、人間としての絆をつくっていくのが敬意です。そして、清らか。人間として心に汚れはないか。そして最後の寂は、どんなときにも動じない、不動の信念。

そういう精神を一盃のお茶をもって教える。「失礼いたします」「お先にどうぞ」といった心。そういうことが人間の本래の形だということを、私はお茶で教わりました。

忘れられない、1943 年のことです。当時、大学生だった私は学徒動員され、海軍航空隊に入隊しました。そして 1945 年 4 月、特別攻撃隊に志願し、鹿児島県の鹿屋へ出発。5 月 21 日に命令が出て、私たち 34 人がこれから出撃しようという時に隊長から呼び出しがあり、待機を命じられました。「私は出ます。全部用意ができております」「命令は命令。命令違反したら、君は戦死しても戦死にはならないんだよ。だからちょっと待ちなさい」。この「ちょっと待ちなさい」の一言で私は助かったのでございます。多くの戦友、しかも大学で学んでいる将来ある若者が、沖縄戦で亡くなりました。

私は茶家の息子でしたから、軍隊に簡易な携帯用茶道具を持参していました。訓練の後、配給のようかんで私はお茶を点てました。みんな飲んでくれました。その中の 1 人が「おい、千、生きて帰ってきたらお前のところでお茶を点ててくれよ」と言いました。今もその声が耳に残っています。お茶を飲んで、その後の静けさが耐

えられなかった。そして、戦友たちが敵艦に突っ込んでいきました。

戦争が終わり、日本でもどんどん新たなロータリークラブができていきました。ある日、父と京都ロータリークラブ（RC）の方が私のところに来て「ロータリークラブをもう一つつくる。それには若い人を中心にしたから、青年会議所のメンバーを集めて、ぜひつくってほしい」と言われました。「えらいことだな」と思いましたが、1954年、京都南RCを創立することができました。私は茶道を職業として、創立会員として入会しました。その後、お酒の月桂冠の大倉弘さんから「私が会長になったら、幹事をやってくれないか」と頼まれました。私はちょうど、京都青年会議所の理事長を務めており、「幹事なんて勘弁してください。理事長が終わりましたらちゃんとしますから」と答えたのですが、「ロータリーを勉強しなさい。将来役に立つよ」と言われ、渋々お受けしました。その時、「これだけ読んでおいて」と手渡されたのが『手続要覧』。当時は日本語に訳されたものはないので、大変でした。辞書を引いて一生懸命読みました。このように京都南RCでいろいろな役をさせていただいて、その後、父が所属していた京都RCに移籍しました。

当時、ロータリーはとても重みがあって、入会するのもクラブ一業種1人。勧誘されたとしても即入会とい

うわけではなくて、非常に厳しい入会選考がありました。その人の職業観、世間の評価を基にして選考する。会員としてふさわしいかどうか。その人の職業が、単なる職業ではなく、天から与えられた職業であり、その使命、リーダーシップをもって仕事をしているか。そういうことが認められて、初めてロータリーのエンブレムを着けることができる。大変なことでした。

私が移籍して、ちょうど60年の2025年に京都RCは創立100周年を迎えます。入会して今日まで69年、ロータリアンとして私はどうだったのだろうか。とにかく69年間、無欠席でロータリーにいささか寄与できたことを、私は100年を振り返ってみて、本当に良かったと思います。

私はアジアを代表して国連教育科学文化機関（ユネスコ）の親善大使になっておりますけれど、パリにあるユネスコ本部の入り口に、「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」というユネスコ憲章の前文が掲げてあります。先ほど、RI会長がおっしゃった「愛」とは、みんなを包括し、幸せになるようにリードしていくものです。だからこそロータリーは、人間の希望というものを、平和を礎にして世に示していかなければいけない。その手本でなければなりません。

ロータリーといえば奉仕です。しかし、この69年と

2011年7月、真珠湾攻撃で亡くなった両国の人たちを追悼するため、ハワイのアリゾナ記念館で平和祈念献茶を行った。



いう長い間、会員としておまえはいったい何を試みたのか、と聞かれたらどう答えるか。奉仕ほど難しいものはないと思います。けれど、もしあの時、私が出撃していたら、ここに自分の存在はありません。私は亡くなった戦友たちのことを思うと、じくじたる思いで毎日暮らしてきました。ロータリーの公式標語「One Profits Most Who Serves Best(最もよく奉仕する者、最も多く報いられる)」と「Service Above Self(超我の奉仕)」。ロータリーは自分の表現を通じて、家庭を通じて、奉仕というものの神髄に手を差し伸べていく。そういう奉仕の実践を私たちは生きている以上しなければならないのです。

先ほど、和敬清寂の話をしました。ロータリアンは、いばっていたら駄目。どんな人に対しても「おはよう」「こんにちは」と笑顔で接していく。それがまず一番。人間としての在り方、人間としての自分の存在価値を、そこで高めることができると私は思うのです。「向こうがいさつしないから、こちらもしない」では、つまらない。みんなで手を取り合おうではないか。肩をたたき合おうではないか。そう、歌っているではないですか。エンブレムを着けているのに、人と会っても知らない顔をしている。「どこのロータリアンなのですか」と声をかけることで、人間同士の絆は小さなものから大きくなっていくのですよ。

今、ロータリーだけでなく、各種団体の会員がどんどん減っている。ロータリーなら、ロータリーの魅力を感じさせるということが大切です。ロータリーに入会したら、1人ではできないことも、クラブの会員みんなでできる。I serve が中心だと、ポール・ハリスも言いました。ロータリアンは、行動力。ロータリアンはこのことをはっきりと認識しなければなりません。

皆さん、私は、ロータリーに入ってそんなことを認識することができました。これが100歳の教えです。仏教には、無財の七施^{しちせ}という教えがあります。財のない人でもお布施ができるというのです。お布施というのは、日本では仏様、あるいは人に対して、正直な気持ちをささげる。そして自分がどういう具合に、心身をささげることができるか。もちろんお金は大事ですが、お金だけの問題ではないのです。

長いロータリー経験の中で、世界のいろいろなクラブを訪問しました。どんなクラブにもそれぞれ特徴があります。どこの人でもまず顔の施し^{わげんせ}。次には温かいまなざし、眼施^{がんせ}。そして、言辞施^{ごんじせ}。言葉の情けです。RI会長が先ほど非常に穏やかな表情で、非常に分かりやすい言葉で私たちに語りかけてくださった。どなたに



2022年、ロータリー研究会出席のため来日した
ジェニファー・ジョーンズRI会長(当時)と

対しても慈しみの目を向ける、ということが自分の心の中から目に表れてこなければならない。「ああ、よかったね」「お元気ですか」。こういうどなたにでも出せる言葉を持たなければならないと思います。上下関係の中で大事なものは、そういう言葉による心のつながりです。言葉一つでぶつかり合ってしまうことは、自粛しなければなりません。

そして、心の施し^{しんせ}、思いやりの心である心施^{しんせ}です。例えばニコニコボックスに入れるとき。「自分に代わって、このお金が役に立ってくれる」「こうして自分がいろいろなクラブを訪問できるのも健康なおかげ。皆さんにお目にかかることが楽しみだ」。こういった善意の波が押し寄せてこそ、初めて一つの道になるのです。

ロータリーというのは、ご飯を食べて、お話しするだけではない。自分を磨く場所。心を磨く^{きずな}。絆を持つ。そしてみんな、手をつなぐ。このロータリーの良さというものを、私たちは知っています。この素晴らしさをもって日常の仕事をし、人に接し、行動していこうではないか。少しでも前進している自分の姿、これが大事なことだと私は思っております。

とにかく100年間生きて、振り返ってみると、姿勢を正して前を見る。これが私が皆さんにお贈りしたい一つの言葉であります。ご清聴ありがとうございました。

千玄室 1923年京都市生まれ。同志社大学法学部卒業。1964年裏千家今日庵庵主として千利休居士15代家元を継承し、「宗室」を襲名。1988-90年度RI理事。1998-2002年度ロータリー財団管理委員。02年「玄室」に改名。外務省参与、ユネスコ親善大使、日本・国連親善大使、文化勲章、内閣総理大臣顕彰、レジオンドヌール勲章コマンドゥール(仏)ほか受章。

END POLIO NOW

10月24日の世界ポリオデーにちなんで、日本各地でポリオ根絶への取り組みが行われました



@ 関西国際空港

関西国際空港RC

地区ロータリー財団ポリオ・プラス小委員会の協力を得て、初芝立命館高校のインターアクター3人と共にポリオ募金活動を実施。国内外の多くの観光客が行き交う空港とあって、午前9～12時の短時間で外国のコイン6枚を含め6,716円の寄付があった。のぼりを見て声をかけてくれる人もおり、公共イメージ向上にもつながった。

(11月12日 第2640地区 大阪府)



@メナードカントリークラブ西濃コース・大垣フォーラムホテル

大垣中RC

クラブ創立40周年記念ポリオチャリティゴルフを開催。ゴルフコンペと懇親会の参加者から6万3,000円の寄付金が集まった。さらに、年忘れ家族会でもポリオ根絶のための募金を行うと3万2,171円が集まり、これら全てをロータリー財団のポリオプラスに寄付した。

(11月26日・12月17日 第2630地区 岐阜県)



@ 山口県

防府・山口・山口南RC

初の合同ポリオ根絶チャリティウォークを実施した。会員の家族、従業員も含めた71人が朝8時前にJR防府駅前に集合し、終点の湯田温泉まで5時間かけ20kmを完歩。途中、ショッピングセンターで募金箱とのぼりを持ちポリオ根絶を呼びかけ、約6万円を集めた。

(11月3日 第2710地区 山口県)

@呉森沢ホテル

呉東RC

例会3,000回を記念して寄付金を募り、集まった10万円をロータリー財団のポリオプラスへ寄付。例会の中で贈呈式を行った後、懇親会を開催。クラブの歩みを映像で振り返り、今後につなげていくことを会員一同、胸に誓った。

(11月29日 第2710地区 広島県)



思いを込めた ランタンはどこまで

第 2500 地区 北海道東部

鶴見誠一郎ガバナー (紋別港 R C)

2005 年 7 月からロータリアンになった私は、与えられたこと、目の前にあるもの、ただただ真摯に自分なりに向き合い、取り組んできました。

そして時が過ぎ、グローバル補助金事業でタイへ初渡航。第 3330、3350 地区の対象エリアには、日本では考えられない衝撃の光景が広がっていました。生活圏内に漂う悪臭、虫や小動物がはい回り、不衛生な飲み水、メタンガスの発生。幼い頃から耳にしてきた「人に良いことを」というレベルではなく、これは「人の命を救うために立ち上がりなさい!!」だ。そう悟った瞬間でした。

無論、己のよって立つ、足元の地域へ思いを向けることも大切ですが、恵まれた日本の環境に安穏と身を置いたままでは、気付かず何かを失っていくのではないかな？

以来、私のロータリー観、考えの立て方が変わりました。世界を考えながら日本を考える。国際ロータリーと

いうネットワークの中、自身に何ができ、何が人のためになり、どう行動すべきか。常に心に抱き続けています。

今年度はガバナーという立場、40 代最後の年、などの特別な思いと共に、チェンマイを訪れました。現地での活動に加え、タイ北部から西部と、ミャンマー東部から南部に居住する山岳民族のカレン人(首長族)とも接見。そして、人々が多種多様な思いを込め火をともしたランタンを夜空に放つ祭り「コムローイ」への参加。これらを実現しました。ロータリーとしての情熱と強い思いを込め、私が放ったランタンはどこまで飛んでいったのでしょうか。これからも、私の奉仕のともしびは消えることはありません。

(通信工事)



左: カレン人の女性と。右: コムローイは、ディズニー映画「塔の上のラプンツェル」のワンシーンのモデル

10月の小樽で

第 2510 地区 北海道西部

松浦 光紀ガバナー (小樽南 R C)

「私のロータリーモメント」となりますと、2019 年 10 月 19 日、わが小樽南 R C で実施した、ポリオ根絶活動を思い出しました。

その頃の私は、地区のポリオ委員会に属し、副委員長を務めていました。当地区では、財団への寄付呼び掛け



晩秋というか初冬というか……クラブの仲間と展開した募金の日

と担当が同じなのです。ポリオ根絶への会員の意欲を少しでも高めていただくにはどうしたらよいか、と思案しました。そこで私は、バナーを用意するなど、ポリオ根絶活動を熱心に行ったクラブを、表彰してみることにしました。

このように、地区内のクラブに対し、ポリオ根絶を訴え、寄付を集める旗振りの役割が当時の私にはありました。そんな背景もあり、わが小樽南 R C としても単体で、ポリオ根絶の活動をしてみよう、となったのです。

いよいよ 10 月になり、当日は会員家族と一緒に、私は募金活動を行いました。家にある使わなくなった雑貨や野菜などを事前に集め、小樽市内のアーケードに出展したブースで販売しました。この会場をメインとし、市内の別会場でも、別にチームを組んで募金活動を展開したのでした。

ポリオは脊髄性小児まひとも呼ばれ、幼い子どもが歩けなくなるなどの症状を示します。日本では、海外よりも比較的早くに見られなくなった病気なので、お年を召された方は「ああ、あれですね」と理解されますが、募金活動当日も、若い人には説明を要した記憶があります。

10 月の小樽、少し寒い感じの日だった、と懐かしく思い出しました。

(ファイナンシャル・プランナー)

長崎・大村との「絆」

第 2520 地区 岩手・宮城

森川 昭正ガバナー（仙台宮城野RC）

あの時、2011年3月11日から。被災3県といわれる福島・宮城・岩手のロータリアンは、どうしよう？どうしたらいい？何が出来る？そもそもロータリアンでいられるのか？と……大変な状況が続きました。

少して、わが仙台宮城野RCの当時の松井有紀会長に、長崎県の大村RCから、被災地の子どもたちへ図書を寄贈したい、という申し出があり、これがその後、「未来へ こども達への健やか支援」事業に結実。両クラブの交流が始まりました。

以来、毎年のように子どもたちへ図書の寄贈、読み聞かせ、空調設備の寄贈、柔道や空手の少年交流などを実施しながら、お互いに行き来を重ね、会員同士の懇親も深まっていきました。

加えて、被災地の復興を祈願し、大村RCからはサクラのプレゼントも。大村神社にある、国の天然記念物に

指定されている「オオムラザクラ」を原木とし、2回にわたる寄贈植樹を受けました。仙台の桜の名所・榴岡公園で順調に育ったサクラは、特徴のある大きな花を咲かせ、仙台市民の目を楽しませてくれています。

その大村RCから何と。第2740地区2024－25年度ガバナーとして、石坂和彦さんが出ることに。彼がガバナーノミニーだと聞いた時、私はもう、うれしくて。私にとっての心温まるロータリーモメント！

2024年7月からの石坂ガバナー年度を、私も楽しみに、大きな期待を持って、東北陸奥より、心からのエールを送りたいと思います！

がんばれ和彦さん!! （薬剤師）



2023年7月1日、左・和彦さん、右が私

ロータリーで行動変容

第 2530 地区 福島

右近 八郎ガバナー（福島RC）

行動変容とは「人の行動が変化すること」であり、次の五つの段階、無関心、関心、準備、実行、維持、を経るとされています。皆さんのロータリーでの行動変容はいかがでしょうか。

私は2007年に東京から福島へ移住し、社会的コミュニケーション促進を目的に09年5月、ロータリーに自発的に入会しました。実は、しばらく無関心の時期が続いていたところ、2012－13年度にクラブ幹事を拝命。これが、平凡ですが行動変容のきっかけ、私のロータリーモメントになりました。当地区の重鎮、同じクラブでもある阿久津肇PGからは「クラブの品格は幹事で決まる」というハッパをかけられ……それが幹事への、毎年恒例の激励だということは後で判明しましたが……。

「地位は人をつくる」という諺があります。自由意志で参画している共同体の構成員であるために、誰もが「地

位にふさわしい人」になるわけではありませんが、それでも、さらに高みを目指すのがロータリーなのでしょう。

もう一つ、ロータリーモメントを。2023年、当時ガバナーエレクトだった同期の米山忠俊ガバナーから「右近さんさあ～、うちの地区協議会で何かしゃべってくれんかね～」というお誘いのお電話があり、「えっいいですけど……」という軽いやりとり。ふたを開けると基調講演という、重い責任でした。

現在、何とかガバナーを務めておりますが、今後も次々と訪れるはずのロータリーモメントを楽しみに、変化を恐れず、適応力を高め、より良い行動変容に挑戦し続けたいと思います。（事業持株会社）



ロータ

軽いやりとり（ひょうたん？）から重責（駒？）を担った私の雄姿

海を越える友情の手プロジェクト

第 2540 地区 秋田

淡路 徹ガバナー (潟上 R C)

2011 年 3 月 11 日。東日本大震災が発生した。私たちの姉妹クラブ台湾・宜蘭 R C からも「目に見える活動に役立ててほしい」と、義援金の申し出がすぐにあった。支援活動はわが潟上 R C だけでは力不足と判断、隣接の 3 クラブへ協力を要請し、当地区からも協力を得て、計



4 クラブと地区による活動が動き出した。

そんな中だった。「秋田の五城目町老人クラブが三陸旅行中大震災に遭遇、奇跡的に宿泊先大槌のホテルで救出さる」との全国版ニュースが流れた。五城目 R C は私たちの親クラブなのだ。岩手県上閉伊郡大槌町、こしかな。支援先が絞り込まれた。

ただ、被災の全容が明らかになると、言葉を失うほど、壊滅状態と言ってよい状況が分かってきた。そこで私たちは、第 2520 地区 (岩手・宮城) のガバナー事務所による震災支援活動の場を借り、「海を越える友情の手プロジェクト」を立ち上げることとなった。

私たちの県内友好クラブの本荘東 R C、阪神・淡路大震災時への支援恩返しとして大阪の守口 R C、寝屋川 R C も参加を表明。プロジェクトメンバーが一堂に会し、継続活動を約束。震災以来 5 年間、支援が続けられた。惨状の中、自らが最も傷ついているはずの大槌 R C 会員もその趣旨に賛同し、支援に加わってくれたことには感謝でいっぱいである。

潟上 R C 50 周年時には、宜蘭 R C と守口 R C が来訪、大槌町長からは感謝状が届けられたことは忘れられない。あの時のロータリアンの結束力、今も思い出します。

(穀粉食品製造業)

ばったりと出会いました

第 2550 地区 栃木

三井福次郎ガバナー (佐野 R C)

「貴地区の高校生が警察に留置されたので、引き受けに来てほしい」。

1990 年代、私は地区青少年交換委員の任にありました。夏期交換制度として、ロサンゼルスの高校生と当地区の高校生が、交換留学できるようにしていたのです。



お互いのホームステイ先に行く前にと、ハワイまで引率して帰国した直後の電話でした。

のけぞりそうでした。帰宅する間もなくハワイにトンボ帰り。ハワイの警察署に、その問題の少年を引き受けに……ホテルのベランダから、飲み終わった空き缶を外に投げ捨てたのを目撃され、「軽犯罪法違反」として留置措置とのこと。

こんな思い出から数十年も過ぎたガバナー公式訪問で何と、その元少年に再会したのです。「あの時はご心配をおかけしました」。今その彼は 50 代のロータリアン。入会しては十数年、中堅どころとして活躍中。昔話をしながらのひとときの中、これまた何と！現在、彼は青少年委員を務めているとのことなのです。

振り返ると、青少年委員時代には、本当に多くの青少年との出会いがありました。こうして数十年たった今、ロータリーの会員として、経営者としての再会は、実に喜ばしいものです。ガバナーになった私が、公式訪問の中で何人も「あの時はお世話になりました」と声を掛けられ、昔話が弾みます。

青少年奉仕活動に取り組んでいた私、ガバナーになった私。幾つも幾つも、喜びの時間を重ねています。

(ゴム製品製造)

私の人生を豊かにした「ファム君」との出会い

第 2560 地区 新潟

米山 忠俊ガバナー (三条北RC)

ロータリーライフを過ごす中、「米山」という姓ゆえに、2012 年、私は地区米山記念奨学委員会の一員となりました。

そして、ファム フーン ヴァン君。通称「ファム君」という、ベトナムから来た、勤勉な学生との交流が始まりました。彼がベトナムから来た当初、大学での勉学に加え、三つものアルバイトを掛け持ちしていたことを思い出します。彼の努力と負担の大きさに驚きましたが、同時に、彼の意欲と熱意にも触れました。

2012 - 14 年度の米山奨学生となった彼の、勉学に対する集中力と成長を目の当たりにした私は、彼の米山カウンセラーとなってサポート。時は流れ、ファム君は大学院を卒業し、日本企業に就職し、ベトナムのハノイで活躍しています。

2017 年には、ファム君の母国にて行われた結婚式に、

私たち夫婦ともども招待いただき、新夫妻の門出を祝ってきました。

さらに、2023 年 11 月 4～5 日にかけて行われた、当地区大会への彼の出席は、ガバナーとなった私にとって大きな喜びでした。新幹線に乗って駆け付けて来てくれた彼の変わらぬ笑顔は、地区大会の記憶の中でも、特に鮮やかに輝いています。

現在、ファム君は 3 児の父親として、ベトナムと日本の架け橋として活躍しています。彼の成長と成功を見聞きするたび、誇らしく思います。ガバナーとしての責務を果たし終えた後、私は再びベトナムを訪れることを、彼に約束しています。

(鉄骨建築)



2023 年 11 月、地区大会にはるばる駆け付けてくれたファム君と

私は何を見てきたのか 何を見ていくのか

第 2570 地区 埼玉西北

高丹 秀篤ガバナー (深谷RC)

私がロータリーに入会した理由の一つに、16 年という歳月にわたりお世話になったアメリカに恩返ししたい、との気持ちが強くありました。私は会社で、わが子らは通った学校で、多くのアメリカ人の仲間に支えられました。私たち家族は、今も変わらずアメリカやアメリカ人が好きです。大好きなアメリカ生まれの ROTARY INTERNATIONAL の中で、私は世界に貢献していきたい、と思ったのでした。

入会間もないころから「識字率向上」「水と衛生」プロジェクトに関心を持ち、地区国際奉仕委員として活動し始めました。そこで、私は見たのです。入会前、何回となく行き来していた国々の、全く違う^{かも}貌を。

ショックを受けました。比較的裕福な国だな、という印象があったタイでも、学校ではなく寺院で、鉛筆もノートも足りていない中、勉強していました。飲み水も衛生

的でない現場を、行く先々で見ました。フィリピンではさらにひどい状況に遭遇しました。これら強烈なインパクトは、ロータリーの会員としてわが背筋を伸ばすきっかけとなり、ロータリーの原点となったと思います。

今後、10 年後、20 年後の世界の行く末を考えると、最も重要なのは、世界平和に貢献する人材育成ではないでしょうか。ロータリーは青少年奉仕に重きを置き続け、短期の青少年交換、米山奨学生やロータリー財団奨学生など、異なった視点から、幅広く世界に羽ばたく人材育成に、資金と労力を注力しています。青少年奉仕活動こそが、世界平和の貢献につながると私は信じ、モメントを重ねていきたいと思っています。

(不動産業)



去年、三島のスカイウォークで米山奨学生と。記念館訪問後に

ボリビア・ラパス

米山から世界の町へ

28

正式名はヌエストラ・セニョーラ・デ・ラ・パス。行政・立法府があり、事実上の首都機能を担っている都市です。



米山奨学生・米山学友の近況を、その故郷や、今、暮らしている町と共に紹介するシリーズです。今回の紹介者は……

サン・アンドレス大学教授

ウガルテ カボ フアン ルイス さん
(ボリビア / 2004 - 06 / 長崎出島RC)

「オラ！（こんにちは）」

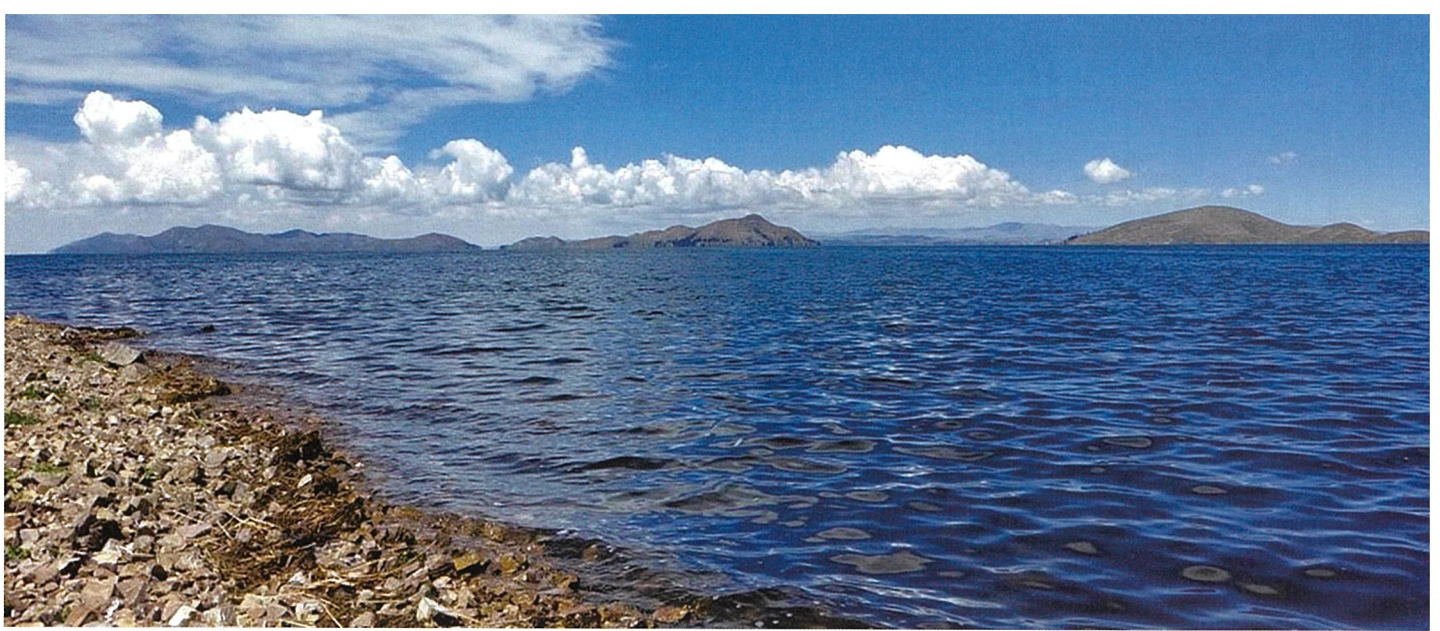
ボリビアは南アメリカ大陸中央部に位置し、ブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、チリとペルーに囲まれた国。面積は110万 km²で、日本の約3倍。公用語はスペイン語、ケチュア語、アイマラ語を中心に、36の先住民言語が混在しています。憲法上の首都はスクレですが、政府の主要機関はラパスにあり、こちらが実質的な首都機能を担っています。標高は3,500mを超え、世界で最も高所にある“首都”ともいわれます。私の生まれは南部のポトシですが、現在はラパスに住んでいます。

ラパスに近く、ボリビアで外せない観光地といえば、チチカカ湖。ボリビア西部とペルー南部にまたがり、標高は富士山よりも高い約3,800 m。世界一高所にある湖です。面積は琵琶湖の12倍以上。10万年以上、存在し続けているとされ、世界有数の古代湖の一つ。湖上には大小の島々がありますが、それとは別に、トトラというアシの草を長年重ね合わせた浮島で暮らす人々が今もいます。

もう一つの見どころはティワナク遺跡。インカ文明以前に栄えたとされる世界最古級の文明遺跡で、2000年に世界遺産に登録されました。インカ文明と同様、文字を持たない社会だったようですが、遺跡中心部の「太陽の門」には、1年を12カ月とするカレンダーのようなものが描かれており、暦の目的を果たしていたのでは？とされています。チチカカ湖からも近く、併せて訪れてほしい場所です。



ティワナク遺跡にある「太陽の門」と、遺跡内の様子



世界有数の古代湖・チチカカ湖は、標高約 3,800 m の高地にありながら、なみなみと水をたたえています

次に、ラパスで伝統的な料理といえば「プラト・パセーニョ」。パセーニョはスペイン語で高地に住む人を指し、プラトはプレート。大粒のトウモロコシ、ジャガイモ、さやごと焼いたソラマメ、チーズや牛肉などを盛り合わせた一皿料理で、お祭りなどでよく食べます。普段はフォークやスプーンなどを使わず、手で直接食べます。その他にも、特別なときに食べる料理として、チチカカ湖周辺に住むアイマラ人にルーツを持つ、アンデスの伝統料理「アプタピ」があります。魚やチーズ、乾燥ジャガイモ、ソラマメといった食材を蒸したものが並び、祝い事などで供されることが多い料理です。

ラパスを代表する料理
プラト・パセーニョ



祝いの席でよく出る、
伝統料理のアプタピ



仲間と一緒にラパスの農村を訪れ、歯科治療のボランティア

思い返せば、留学時代、長崎ではたくさんの友人ができました。世話クラブとしてお世話になった長崎出島ロータリークラブの皆さんは、とてもすてきな人たちばかりで、日本の音楽や古くからの習慣など、たくさんのことを教えてもらいました。この恩は絶対に忘れません。

私は現在、ラパスのサン・アンドレス大学の歯学部で教授を務める傍ら、30人から成る一団を組み、年に8回、歯科医のいないラパスの農村を訪問し、貧しい人々への口腔衛生の促進、虫歯予防、治療、フッ素塗布、拔牙などを行っています。日本でお世話になった皆さんへの直接の恩返し、とはいきませんが、ロータリーでの学びを糧に、歯の治療にお金を払う余裕がない人たちのため、ボリビアの全ての地方に赴き、困っている人々の力になることが私の夢であり、目標でもあります。

※米山記念奨学事業、または「よねやまだより」へのお問い合わせは、(公財)ロータリー米山記念奨学会まで
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281 Eメール : mail@rotary-yoneyama.or.jp

People of action around the globe

世界中で活躍する「世界を変える行動人」

By BRAD WEBBER

『ROTARY』2月号から



イギリス

ハリファクス・ロータリークラブ（RC）は、創立100周年事業として、中世の道「マグナ・ビア」上に展望台を建設。そこに設置したイラスト付きパネルでは、16世紀のハリファクス断頭台のレプリカや、建築家チャールズ・バリー卿がデザインしたタウンホールなどが紹介されており、二次元コードを読み込むと、クラブのウェブサイトから各建物の詳細を見られます。

「展望台からの眺めは素晴らしく、地平線を見

渡せます」と話すのは、第1040地区バストガバナーのケン・ロバートショーさん。事業は亡くなった彼の妻ポーリーンさんを追悼するもので、2万5,000ドル（約370万円）の事業費は、スポンサー企業やロバートショーさんら有志が拠出。メンテナンスは、町が行うことになっています。ロバートショーさんは「この場所には、町の歴史をたたえるようなものを建てるのがふさわしいと考えました」と話します。

1650年

最後にハリファクス断頭台が使われた年

37以上

シェークスピアが書いた演劇の数

セネガル

ダカール・ソレイユRCとアメリカ・ペンシルベニア州のウェストチェスターRCは昨年、セネガルの三つの村に設置した井戸の完成を祝いました。コロナ禍による遅延や水源の検査に数カ月を要したものの、ようやく井戸を完成することができた、と振り返るのは、この事業に協力したアラバマ州グレーターハンツビルRC会員のサミュエル・ローリーさん。設置予定の五つの井戸のうち三つがすでに稼働し、飲み水が提供されています。グローバル補助金13万ドル（約1,900万円）を利用し、オンラインでも資金を募りました。フェイスブックには「同じような井戸を私たちの地元でも設置してほしいが、どうしたらよいですか」といったコメントも寄せられました。

50%

2050年までに予想される
セネガルで再利用可能な
淡水の減少率



アメリカ

スキーリゾートにある州パークシティ・サンライズRCは10月、ショットグラスが付いたスキー板をみんなで同時に持ち上げて、ウイスキーを飲む「ショットスキー」を実施。何百ものショットスキーを1,363人が同時に掲げ、ライ麦ウイスキー、アップルサイダーを飲み干しました。このイベントで、地元団体を支援するために4万3,000ドル(約630万円)を集めることができたと話するのは、会員のコニー・ネルソンさん。同じクラブのマイク・ルアーズさんと一緒に、友好的ライバルであるコロラド州のクラブによるショットスキーのイベントを「事前視察」したそうです。「街のメインストリートを通行止めにして実施していました。私とマイクさんは互いに目配せしながら、『うちならもっとうまくできるね』と言いました」。結果は「チケットが完売したのに、多くの参加希望者が列を作ったほどです。単にお酒を振る舞うのではなく、みんなで一緒に何かをしようというコミュニティーイベントです」

6,500 万人

2022 - 23 年のシーズンにアメリカの
スキーリゾートを訪れた人の数



スリランカ

ロータリアンの支援を受けたスリランカの若い役者たちは、真剣に演技に取り組んでいます。約50年間、何万人もの若者がシェークスピア劇の大会「Shakes」に参加。昨年は9月に開かれ、コロンボノースRCとコロンボYMCAが主催し、1,000人以上の学生が参加しました。主催者が八つの演目から選んだ30分のシーンを、各グループが演じます。「審査は主に演技に基づいて行われますが、監督、チームワーク、音響・照明なども審査対象です。このコンテストは、スリランカの舞台を目指す若者にとって、キャリアを築くための貴重な一歩となりました」と話するのは、クラブ会長のラシカ・ジャヤマハさん。優勝グループには、シェークスピアの生誕地であるイギリスのストラットフォード・アポン・エイボンから贈られた、シェークスピアの銀の胸像が授与されます。

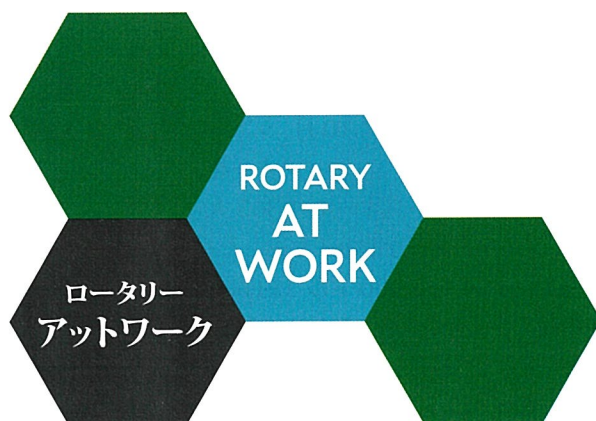
ホンジュラス

ホンジュラスでは若者の約40%が中学校に通っていないことから、学力が低迷する課題に取り組もうと、以前にも共同事業を手がけたことのあるテグシガルパスールRCとカナダ・オンタリオ州のピーターボロRCが協力。レパテリケの町に教員教育センターを建設し、書籍や教材を寄贈しました。その後、ある非営利団体および国の教育省と協力し、小学校の教員に識字率向上に関する研修も実施。ピーターボロRCの会員であるマリ・プレスさんは「62校から集まった160人の教員を対象に、交代で計16時間のワークショップを行いました。反響は上々でした」と話します。



45%

中学校を卒業する
ホンジュラスの子どもの割合



地域の魅力発見！ 釧路湿原ツアー

釧路 R C

第 2500 地区・北海道

当クラブは 10 月 21 ～ 22 日、^{*}地区補助金を活用し、地元小学生を対象とした「地域の魅力を学び考える体験ツアー」を行いました。

道内東部は自然が豊かで、最も北海道らしい地域といわれます。釧路市内には釧路湿原国立公園、阿寒摩周国立公園と二つの国立公園があります。ところが、地元にながら、これらを「訪れたことがない」「よく知らない」という子どもが多くいます。そこで、地域の魅力を知り、改めて好きになったり、誇りを持ったりしてもらえたらと期待し、今回のツアーを企画しました。対象者は市内の小学 3 ～ 6 年生。応募の児童に加え、小学校の先生や会員のお孫さん、地区内のロータリアン、特に当地に転勤でやって来た会員などにも参加してもらいました。

湿原散策では、官民の専門家らによる組織・釧路国際

ウェットランドセンターで技術委員長を務める新庄久志^{もうきん}氏が解説。また、釧路湿原野生生物保護センター内の猛禽類医学研究所のスタッフで獣医師の渡辺有希子^{ゆうきこ}氏が、自然の成り立ちや人間との共生関係などについて講義。子どもたちからは多くの質問が出て、学びを深めているようでした。

お昼はエゾシカの肉を使ったカツカレー、特産の阿寒ポークを使った豚丼といった地元食材も味わいました。大型バスの手配など、地区補助金を活用したことで実現できた内容も多々あり、その有効性も実感できました。

^{*}地区補助金 (District Grants)

ロータリー財団の使命を支える、比較的短期で小規模のプロジェクトに使用できる補助金です。人道的支援や奨学金、青少年プログラム、職業研修チーム (V T T) の派遣など幅広く活用でき、各地区は配分する事業を独自に選べます。



こどもたちと願う Love & Peace

船橋東 R C

第 2790 地区・千葉県

10月14日、地区補助金事業「こどもたちと願う Love & Peace」を実施。船橋市の恒例行事「平和の集い」の開催に合わせ、市内小学3年生に依頼し、平和への願いを込めて描いたポストカード作品2,200枚を展示。さらに、生花で作った等身大のご当地キャラクター・ふなっしーのフラワーアートを展示しました。広島市平和式典派遣者の報告や原爆にまつわる映画「この世界の片隅に」の上映もあり、平和を考える機会に花を添えられました。



ひとり親世帯 ハロウィンパーティー

2720 Japan O.K. ロータリー E クラブ

第 2720 地区

10月8日、当クラブ初となる行政との共催事業として、大分市との「シングルママ・パパ交流会ラフラブ第4回ハロウィンパーティー」を開催しました。以前の例会時、同市子育て支援課による卓話から、ひとり親世帯の貧困を耳にしたのがきっかけ。今回は市内在住の親子を対象に「イベントを楽しみながら、日頃の悩みや思いを話してみませんか？」というのが趣旨のイベント。当日は各会員の職業を生かし、参加者にヘアメイクや記念撮影を行うなど、笑顔あふれる一日となりました。

盲導犬のこと もっと知ってね!

横須賀南西 R C

第 2780 地区・神奈川県

10月21日、地元の商店会と町内会が主催した「北久里浜秋まつり&ハロウィン」で、盲導犬育成支援のためのイベントを開きました。より多くの来場者に参加してもらうため、会員たちは開始前から胸と背中に看板を着けての呼びかけ。多くの人の関心を集めた上で、盲導犬を取り巻く実態を説明し、寄付や支援を訴えました。今後は、盲導犬支援を継続的な活動として実施したいと考えています。



訪問コンサート再始動

岩出 R C

第 2640 地区・和歌山県

10月22日、コロナ禍で休止していた「訪問コンサート」を、4年ぶりに「オータムコンサート」と銘打って再開しました。県立那賀高校吹奏楽部の協力を得て、地域の福祉施設で開催してきた演奏会です。今回は紀の川市の児童養護施設・丹生学園を、吹奏楽部の生徒36人と一緒に訪問しました。生徒たちは、各楽器を紹介するなどして交流しつつ、迫力ある演奏を披露。会員は裏方として、移動の手配や会場設営などで汗を流しました。

ロータリー村で 農作業体験

尼崎南 R C

第 2680 地区・兵庫県

尼崎市内の小学生を中心に、田植えや稲刈りを体験する事業「尼崎南ロータリー村プロジェクト」を約 10 年続けています。今年度は 10 月 7 日、会員家族と一般から児童らを招き、稲刈りや芋掘り、熟したもろみから醤油しょうゆを搾り出す作業をしてもらいました。子どもたちは自然の中での作業に瞳を輝かせ、体験後はバーベキューを楽しみました。



教育と支援の二刀流

益子 R C

第 2550 地区・栃木県

当クラブは前年度に続き、地区補助金を活用し「貧困家庭・貧困児童に愛の手を」と銘打った事業を展開。地域の休耕田を借り受けて復田し、春に田植え、9 月 27 日には地元の小学生に体験学習として参加してもらい、収穫の喜びを味わいました。刈り取った新米は、厳しい生活を強いられている世帯に役立ててもらおうと、益子町と茂木町、市貝町の各社会福祉協議会に 30 kg 入りを 20 袋ずつ寄贈。10 月 13 日に改めて、目録を届けに行きました。

芋掘りで笑顔 10 年ぶりの収穫祭

和歌山東南 R C

第 2640 地区・和歌山県

10 月 14 日、クラブの社会奉仕活動として「秋の収穫祭」を開催しました。NPO 法人「こども食堂わかやま」や、当地で就労支援などを行っている「若者サポートステーションわかやま」を利用する親子ら約 80 人を招き、サツ

マ芋掘りを楽しみました。

会員たちは 5 月から畑の準備。植え付けや水やり、除草など、要所要所を今回の参加者にも手伝ってもらい、今回の収穫祭を迎えました。サツマ芋の品種は「紅あずま」「鳴門金時」「紅はるか」の 3 種。当日、子どもたちは地域のローターアクターの手も借りつつ、芋のツルをたよりにスコップで掘ったり、手で引っ張ったり。自分の顔ほどの大きさに育った芋が出てくると歓声を上げていました。

その後は、事前に収穫しておいたサツマ芋を使って、焼き芋やてんぷらを作りました。加えて、おにぎりやおでん、綿あめなども提供しました。全員でそれらを食べながら、地域に暮らす人同士のつながりを実感してもらいました。

約 10 年ぶり 4 回目となる事業でしたが、計画は大成功。育てたものを収穫して食べるという経験を通して、子どもたちには働く大切さ、食べる楽しさを改めて感じてもらえたのではないのでしょうか。



昭和記念公園へ行こう！

東京飛火野 R C

第 2750 地区・東京都

10月21日、地区補助金事業として、国営昭和記念公園（東京都立川市・昭島市）へ、地元・日野市にある通所施設「ほっとも高幡」の利用者らを招待しました。

この施設では小学生から高校生までを対象に、生活支援や学習支援を行っていますが、利用者の中には家庭に問題を抱える子や不登校の若者が多くいます。昨年度の「ほっとも南平」の支援に続いての実施で、今回は小学生から高校生までとその保護者の計27人に加え、クラブからは9人、その他、施設スタッフや学生ボランティアも同行して一緒に活動しました。

広大な園内ではサイクリングやボートを楽しむことができ、「ボート遊びは初めて」という子もいました。バーベキューでは会員も子どもと一緒に調理し、会話を楽しみました。施設スタッフから現状などを聞かせてもらったところ、まだまだ支援が必要な子どもたちがいることが実感として伝わってきて、今後も私たちにできることで、手を差し伸べていかねば、と思いました。



子どもたちからは「バーベキューがおいしかった」「ボートが楽しかった」など多くの声を聞くことができ、後日、お礼のメッセージも頂きました。私たち会員も、参加者たちと共に楽しい一日が過ごせました。

タイの病院へ 保育器などを寄贈

刈谷 R C

第 2760 地区・愛知県

クラブ創立70周年を記念し、タイ南部のチュンポン市のウドムスック病院へ、保育器とエコー（超音波）検査の機器を寄贈。10月14日、会員10人で贈呈式に参加してきました。数年来、親交を深めてきたバンコクスワンナプーム R C との共同事業として、グローバル補助金を活用。



式典中、同クラブの会員からは「私がチュンポン市に住んでいた時、病院の設備の不足から三つ子の出産に対応できず、飛行機で1時間かけ、バンコクまで行って出産しました」との経験談が語られました。今回の寄贈により、出産に関わる環境が改善されることを期待しています。



平和へのメッセージ 広島市に顕彰碑を寄贈

第 2710 地区

広島県・山口県

昨年5月のG7広島サミットの折、G7首脳とEU首脳2人が広島平和記念資料館を訪問。そこで芳名録に残した全員分の平和へのメッセージを、当地区の地区大会記念事業で9基の顕彰碑として残すことにしました。設置場所は広島市が「平和の丘」として再整備している比治山公園内のエントランス広場。11月8日に除幕式を開き、市に寄贈しました。顕彰碑を通じ、より多くの人に平和の価値を実感してもらえればと期待しています。

高齢者・障害者との体験型交流会

名古屋北 R C

第 2760 地区・愛知県

10月23日、クラブ創立65周年を記念し、名古屋市北区社会福祉協議会と共同で地区補助金事業「高齢者・障害者との体験型交流会」を開催しました。



まずは式典の中で同協議会を通じて市民に無料で貸し出される物品の寄贈。具体的には車いす10台と車いす用ラック2セット、歩行器1台、パラリンピック正式種目でもあるボッチャ用品5セット、ボッチャ用コート2セットを寄贈しました。

交流会では、幼少期に感染したポリオの後遺症で障害のある北区身体障害者福祉協会の上松昭夫氏が、車いすでの体験談を語り、その後、会員と一般参加の市民で車いすに試乗。実際に乗ってみると、普段気にも留めないような5cmほどの段差も乗り越えるのが難しく、不便さを感じられた貴重な体験となりました。

その後は高齢者と車いすの利用者、会員のチームに分かれ、試合形式でボッチャを体験しました。思いの外楽しく、みんな夢中になってしまい、童心に返ったような笑顔がこちらこちらで見られました。また、さまざまな体験中の会話を通じて、地域の人たちが何に困っているか、何を必要としているかを聞き、われわれが何をすべきか考える機会となりました。市民と触れ合うことの大切さも再認識することができました。

ウクライナの人たちと笑顔の交流夜間例会

横浜南央 R C

第 2590 地区・神奈川県

戦争のため、避難を余儀なくされ、横浜市内で暮らしているウクライナの人たち48人を招き、10月17日に交流夜間例会を開催しました。会場は地上277m、横浜ロイヤルパークホテル最上階のスカイラウンジ。そこから眺める横浜の夜景に加え、ミュージカル俳優・友石竜也さんの歌声、おいしい料理も提供しました。



私たちのクラブにできる精いっぱいのおもてなしは、満面の笑みを引き出しました。母国から遠く離れた異国の地・日本で生活するウクライナの人たちのメンタルヘルスケアにもつながったのでは、と思っています。



市民の多機能広場へ屋外テントを寄贈

福島西 R C

第 2530 地区・福島県

11月3日、クラブ創立40周年を記念し、福島市内にある交流や催事の拠点の一つ「まちなか広場」に、同市へオレンジ色の屋外テント2張りを贈りました。贈呈式当日は「うまいもの市」が開かれており、テントはそのままブースとして活用。ロータリーのロゴも入っていることから、認知度向上に貢献できました。広場は防災拠点でもあり、災害発生時には防災テントとしての活用が期待されます。

新駅舎開業！ 観光案内マップを寄贈

大館南R C

第 2540 地区・秋田県

大館市生まれの秋田犬・忠犬ハチ公は、2023 年が生誕 100 周年。飼い主となる東京帝国大学・上野英三郎教授の元へと届けられるため、ハチ公が旅立った JR 大館駅は同年 10 月 29 日に新駅舎を開業しました。当クラブは開業日に合わせ、観光案内マップを寄贈。新駅舎・駅なか交流センター内に設置され、忠犬ハチ公像などの名所、きりたんぼ鍋、大館曲げわっぱなどの特産品をイラストで紹介。観光情報が検索できる二次元コードも掲載しています。



笑顔をつくる フードパントリー実施

我孫子 R C

第 2790 地区・千葉県

我孫子市内では以前から、生活困窮世帯への支援を目的に子ども食堂が開かれており、当クラブとしてもこの活動を支援しようと、まずは 9 月に官民共同の組織「我孫子子ども食堂ネットワーク」に冷凍庫を寄贈。さらに 10 月 1 日にはフードパントリー（食品無料配布）事業を実施し、対象世帯に弁当と野菜を配布しました。会場に射的や輪投げなどを用意し、子どもたちも楽しめるよう工夫したところ、多くの笑顔をつくり出すことができました。

世代を超えて おさんぽパーク事業

長浜 R C

第 2650 地区・滋賀県

地方を中心に全国的な人口減少が進む中、県内でも特に減少率の高い長浜市の活性化につなげようと、11 月 3 日、「長浜おさんぽパークプロジェクト」と銘打った事業を展開しました。

「子育て支援」と「高齢者の戦力化支援」を軸に企画を練っていた折、子育てや就労、シニアの支援まで幅広い分野で地域を応援する組織「合同会社 L O C O」との出合いがあり、共催事業として進める運びとなりました。当日のメイン会場は長浜市の玄関口・JR 長浜駅と直結する「えきまちテラス長浜」。未就学児と小学校低学年の児童、保護者、地域の高齢者ら総勢約 200 人が参加してくれました。

まずは「みんなの居場所づくり」として、親子が力を合わせてベンチやテーブルを製作。完成後は「えきまちテラス」の芝生広場に配置しました。続いて、誰でも花や野菜が育てられる場所を整備しようと、「えきまちテラス」と JR 長浜駅をつなぐデッキ上にある花壇を「みんなのガーデン」として、花や野菜を植えました。





小学生と、ロボットの プログラミング教室開催

恵那 R C

第 2630 地区・岐阜県

当クラブは 11 月 5 日、恵那市内の小学 2 ～ 6 年生を対象に、ソニー（株）のロボット「トイオtoio」を使ったプログラミング教室を開催しました。当日参加してくれた 35 人は、toio のプロジェクトリーダーを務めた田中章愛さんから直接指導を受け、プログラミングを体験。事業は市との共催で、この分野に詳しいクラブ名誉会員の小坂喬峰市長も駆け付け、楽しい時間を過ごしました。

花壇を花いっぱい

和歌山市内 9 R C

第 2640 地区・和歌山県

11 月 5 日に「和歌山駅前花壇植替え奉仕事業」を実施しました。年 1 回の恒例となる作業で、当日は日ごろ花壇の手入れをしている N P O 法人・花いっぱい推進協議会のメンバーに加え、和歌山市長も参加。和気あいあいと作業をしながら、参加者同士で交流を図り、花壇をきれいなお花でいっぱいにしました。

また後日、感謝の気持ちを込めて同協議会へ、こちらも例年通り、金一封を贈りました。



蘭学の里・中津の未来を

中津 R C

第 2720 地区・大分県

11 月 12 日、クラブ創立 70 周年を記念し、「蘭学の里・中津の未来へ向けて～命輝く人材育成を～」と題したイベントを一般公開。東洋大学文学部・岩下哲典教授の特別講演「三津同盟を基軸に 福澤諭吉と蘭学・洋学」の他、シンポジウムでは「蘭癖大名 奥平昌高とその周辺」「村上玄水とパイオニア精神」「前野良沢から田原淳 蘭学のパイオニア精神」の各演題で、この地で日本の精神的支柱になるような学問が生まれた歴史をひもときました。今回の催しをきっかけに、中津市の子どもたちが希望や夢を持てるような地域となるよう期待しています。



市民に癒やしを 駅前広場の美化に協力

柏東 R C

第 2790 地区・千葉県

11 月 19 日、東武鉄道野田線・高柳駅西口の美化に協力しようと、地区補助金を活用して駅前広場の花壇にソテツの木を植えました。今回の植樹は駅前花壇の整備に努める地域団体に協力する形で行ったものです。

東武鉄道は 2014 年、野田線のイメージアップを図ろうと「東武アーバンパークライン」の愛称を採用。同路線上の高柳駅は、20 年から急行電車の停車駅となり、それに伴って商業施設や人口も増加傾向にあります。今回の植樹で駅周辺をきれいにすることで、駅を利用する市民に癒やしを贈り、地元愛の醸成につながることを期待しています。





さんろく街で清掃活動

北海道 2500 ロータリー E クラブ

第 2500 地区

11月7日、「旭川さんろく街 ごみゼロクリーンアップ DAY」を実施。日頃から例会などの各種会合で訪れる機会の多い「旭川さんろく街」は、旭川市3条通6丁目を中心とするエリアであり、大雪山の山麓にあるなどの説から名付けられた道内有数の繁華街。観光客も多く、ごみが捨てられれば鳥なども集まってきます。ふんの汚れ、ひいてはふんから感染症が広がる恐れを防ぐためにも、深まる秋の寒さに負けず、夕刻から会員10人で歩道を中心に清掃しました。今後は継続事業にしたいと考えています。

地域のお祭りで ロータリーをPR

横浜西 R C

第 2590 地区・神奈川県

11月5日、横浜市西区で「第48回西区民まつり」が開催され、クラブとしてブースを出店しました。社会奉仕委員会を中心に会員10人がチラシを配りながらロータリーをPR。当日は以前卓話をお願いした横浜市の山中竹春市長も駆け付けてくれました。

子どもや家族連れ向けに水風船を配布。大好評につき、予定時間より早く全てを配り終えましたが、慣れない水風船作りで、会員たちの手は腱鞘炎になりそうなほどでした。



子どもたちとアートなベンチ作り

津山中央 R C

第 2690 地区・岡山県

当クラブは今年度、初の試みとして「子どもたちとともに！ アートな公園づくりプロジェクト」を実施しました。地区補助金を活用し、地域の子供たちと一緒にアートなベンチを作り、津山市にある都市型公園グリーンヒルズ津山に設置するという事業です。

まずは10月28日、児童養護施設・立正青葉学園の児童や職員と一緒に、ベンチを装飾するタイルプレートを作成。ハート形やクローバー形のモザイクタイルを使った色とりどりの作品には子どもたちの個性があふれ、その素晴らしさに私たちも感動しました。大変喜ばれたようで、子どもたちから後日、「ありがとう!!」「楽しかった～」「また参加したい」といった喜びのメッセージがたくさん書かれた寄せ書きが届きました。

タイルプレートの取り付けやベンチの設置作業は専門業者に依頼し、11月16日、公園内のベンチ設置場所で、津山市への贈呈式を開催。計2基のベンチを寄贈しました。この事業を通じて、子どもたちがモノづくりの楽しさを体



感し、モノを大切に作る心や郷土愛を育んでくれればと思います。また、アート作品にもなるベンチを設置することで、津山市の公共施設に新たな付加価値を与え、地域の魅力を向上できたのではないのでしょうか。公園を訪れる人々が笑顔でくつろげる場所となるよう願っています。

2023 - 24 年度 地区大会略報 III



世界に希望を生み出そう



第 2560 地区

2023 年 11 月 4 ~ 5 日
燕三条地場産業振興センターほか
ホスト 三条北 R C

米山忠俊がバナー 4 年ぶりに制限を設けず開催。福原有一 R I 会長代理を迎え、会場には 700 人弱が参集。「笑いと学び。そして感動！」を大会テーマに、三条市出身のラジオパーソナリティー・関田将人さんと、「新潟県住みます芸人」として県内で暮らすお笑い芸人・チカコホンマさんに、新潟の魅力話を語ってもらいました。懇親会では、東京パラリンピックで国歌を独唱した同市出身の佐藤ひらりさんの歌声を聞き、市内の飲食店が結集し真心込めて作った料理を堪能。市内 4 クラブが総力を挙げて参加者をもてなしました。



第 2820 地区

2023 年 11 月 4 ~ 5 日
水戸市民会館ほか
ホスト 水戸 R C

大久保博之がバナー「まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」をスローガンに開催。初日の地区指導者育成セミナーでは、桎畑直尚 R I 会長代理が「ロータリー事始め」と題して講演。翌日はお笑い芸人・厚切りジェイソン氏による記念講演「ジェイソン流お金の増やし方」で盛り上がりしました。さらに、茨城の魅力を上げるため、地区内各クラブ地元のおすすめスポットやグルメを紹介したガイドブック「MITELAN IBARAKI」が当日配布されました。「やぐら広場」での懇親会では、お祭り気分での会員同士の親交を深めました。



R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

第 2590 地区

2023 年 11 月 10 ~ 11 日
パシフィコ横浜会議センター
ホスト 神奈川 R C

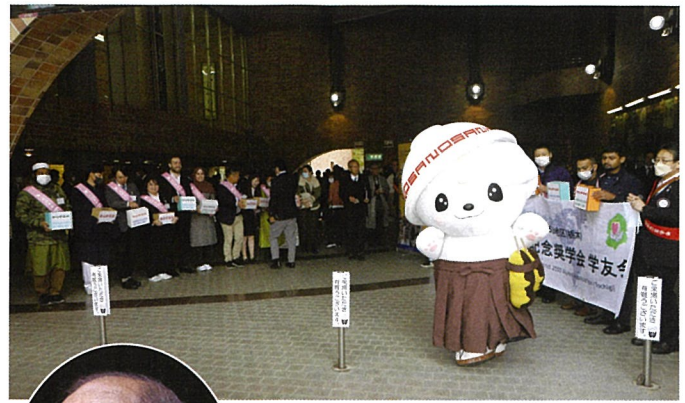
樋口 明がバナー 水野功 R I 会長代理を迎え、初日はガバナーテーマ「先達を敬い、未来を見据えて行動しましょう！」を踏まえ、当地区の上野孝 P G による「関東大震災とロータリー」と、第 2800 地区・鈴木一作 P G の「ガイ・ガンディカーから学ぶロータリー」の講演。2 日目はエミネントグループ(株)代表取締役社長 C E O の小野塚恵美氏による記念講演「持続可能な社会で必要とされる個人と企業」から学びました。晩餐会では、当地区の小倉正 P G が「昂」^{ぼん}「オー・ソレ・ミオ」^{すぼる}をサプライズで熱唱し、会場は最高潮に盛り上がりしました。



第2530 地区

2023 年 11 月 11 ～ 12 日
パルセいいざかほか
ホスト 福島 RC

右近八郎ガバナー 地区スローガン「ロータリーの誇りを楽しもう！」を掲げ、松本祐二 RI 会長代理を迎え開催。初日の地区リーダー研修セミナーでは、第2500 地区・小船井修一 P G の講演「組織規程を理解し変化に対応する」から、新たな気付きを得ました。翌日の本会議では、ローターアクターを含め、ロータリーの青少年プログラムに参加する若者らが活動を発表。また、医師で作家の鎌田實氏による記念講演「逆境でも負けない 幸せに生きるヒント」などもあり、たくさんの感動と友情を共有した大会となりました。



第2550 地区

2023 年 11 月 11 ～ 12 日
佐野市文化会館ほか
ホスト 佐野 RC

三井福次郎ガバナー 寺嶋哲生 RI 会長代理を迎えての開催。当地区ではガバナーの呼びかけに応え、10 月の世界ポリオデーに合わせ、クラブを挙げてポリオ根絶のための募金や P R 活動を行っており、大会でその成果が報告されました。また、佐野市出身の作詞家・榊原広子氏が所属するフォーク歌手グループ、ダ・カーポのコンサートでは、その歌声に癒やされました。久々にコロナ禍以前のように、クラブ間、会員間の交流に制限がなく、地区スローガン「クラブを通したロータリー生活を楽しみましょう」を実感できた大会でした。



第2600 地区

2023 年 11 月 11 ～ 12 日
キッセイ文化ホールほか
ホスト 松本空港 RC

折井正明ガバナー 「ポリオでひとつ、世界も地区も」をテーマに掲げた今大会、元・新型コロナウイルス感染症対策分科会会長の尾身茂氏が「人類の感染症との闘い」と題して基調講演。一般にも公開した同講演中、尾身氏からは国の機関とともに感染症対策の折衝秘話が披露された他、世界的なポリオ根絶に取り組み始めた 1980 年代、「RI からの最初の寄付が各地の根絶のきっかけになった」と感謝が伝えられました。その後のパネルディスカッションでは、根絶までの持続的な協力、社会に向けた P R の強化が提言されました。



第2640 地区

2023 年 11 月 11 ～ 12 日
スターゲイトホテル関西エアポート
ホスト 和泉 RC

谷 宗光ガバナー 初日は四宮孝郎 RI 会長代理の「ロータリーは楽しくなくっちゃ！」と人材活性プロデューサー・大谷由里子氏の「大谷流『ココロの元気』の作り方」の 2 講演後、晩餐会では「大西ユカリライブショー」で大フィーバー！ 翌日の午前中は、地区を挙げて関西国際空港でポリオ根絶のための募金活動。午後の本会議では、元ラグビー日本代表・大畑大介氏が「為せば成る」と題して記念講演。大会テーマ「思いやりあふれる！明るく！元気なロータリーへ！」へとつながる、大きな活力をもらいました。



第2710 地区

2023 年 11 月 11 ～ 12 日
広島グリーンアリーナほか
ホスト 広島南 R C

井内康輝ガバナー 初日の基調講演は、広島平和記念資料館館長の滝川卓男氏の「被爆の実相と広島への歩み」。杉岡芳樹 R I 会長代理夫妻の歓迎晩餐会では、日本のお隣韓国から友好クラブの会員が多数参加し、友情を確認しました。翌日は国連ユニタール広島事務所長・三上知佐氏の記念講演「わたしたちが望む未来のために」に続いて、広島的大学生 2 人と三上氏とがパネルディスカッション。大会テーマ「平和の種をまこう!! ～ロータリアンにできること～」の通り、平和のためにできることを考え、共有する機会となりました。



第2760 地区

2023 年 11 月 11 ～ 12 日
名古屋国際会議場ほか
ホスト 豊田東 R C

酒井法丈ガバナー 野口英一 R I 会長代理を迎えての開催。初日は、元 R I 会長・田中作次氏が「私の人生」と題して、前向きな心構えと努力を積み重ねることの大切さを語り、活発に出た質問には笑いが交じる回答も。2 日目は、どまつり演舞チーム・笑舞の若くて力強い舞いで開幕。各種報告などの後、松平太鼓の演奏が場内を沸かせ、記念講演へ。徳川宗家 19 代当主・徳川家広氏の「三河武士がつくった徳川の平和と繁栄」からは、地域への誇りを実感。地元根差して活動しつつ価値を育む、そんな未来が垣間見えた講演でした。



第2770 地区

2023 年 11 月 11 ～ 12 日
レイボックホールほか
ホスト 幸手 R C

梨本松男ガバナー 滝澤功治 R I 会長代理を迎え、開催しました。滝澤氏は R I 会長代理あいさつと R I 会長メッセージの報告以外にも、初日の地区指導者育成セミナーの講師を担い、第 3 地域ロータリーコーディネーターとして「国際ロータリーと規定審議会」と題して講演。分かりやすく規定審議会の歴史をひもとく内容で、会員のうなずく姿があらわに見られました。翌日は、若いロータリー学友たちから映像を交えた報告もあり、大会テーマ「Enjoy Rotary 変化は進化」を十分に感じられる、充実した 2 日間となりました。



第2800 地区

2023 年 11 月 11 ～ 12 日
やまぎん県民ホールほか
ホスト 山形北 R C

伊藤三之ガバナー 細川吉博 R I 会長代理を迎え、ロータリーずくめのプログラム。地区方針「ロータリーを語ろうそしてロータリーを楽しもう」にのっとった講演者 4 人は個性豊かなロータリアン。ロータリーを学び、楽しむヒントが多角的に語られました。ロータリー奉仕デーの活動「それぞれの最上川物語」の上映では、地域の課題に真剣ながらも楽しく取り組む姿が映し出され、ロータリーの良さ、会員としての自尊心を再確認した会員も多かったのでは。前例にとられない伊藤ガバナーのアイデアが盛り込まれた大会でした。

被爆地として語り継ぐ 千羽鶴例会



左：被爆体験講話 右下：広島平和記念公園で原爆ドームを前にボランティアガイドの説明に聞き入る会員 左下：千羽鶴を奉納する井内康輝ガバナー



2023 年 9 月 10 日、広島 R A C 恒例の例会「千羽鶴例会」を、広島市のおりづるタワーで開きました。当日は、井内康輝ガバナー（第 2710 地区 広島・山口）と広島 R C の桐原真一郎会長などロータリアンを含む総勢 65 人が参加。開催 2 カ月前から、提唱クラブである広島 R C の他、秋田 R A C や松山大学 R A C、広島中央 R A C、福山 R A C といった全国のローターアクトの仲間たちにも千羽鶴を折っていただき、合計 3,000 羽以上の折り鶴を「原爆の子の像」へささげました。

また、広島平和記念公園内の石碑や被爆建物について改めてガイドの説明を受け、広島平和記念資料館では原子爆弾による凄惨な被害を再認識しました。メインイベントとなる被爆体験講話では、5 月に開催された G 7 広島サミット 2023 にて、各国首脳と会談をされた小倉桂子さんを招請。戦時中の話に加え、首脳陣と直接話して感じたことなど、大変貴重な話を伺いました。講話の中で小倉さんは、私たち若者にできることは三つ、「戦争を知ること」「伝えること」「平和な未来のために行動す

ること」と教えてくださいました。

ロシアによるウクライナ侵攻により、平和の維持がどれだけ難しいことであるかを思い知らされる毎日ですが、広島と長崎に原爆が投下された 1945 年 8 月 6 日、9 日のような悲しい出来事が二度と起きぬよう、広島 R A C としての活動を続け、微力ながら平和な未来のために貢献していきます。

また、例会当日広島にお越しになれない場合は、折り鶴の寄託も承っています。次回の千羽鶴例会の際、私たちが「原爆の子の像」へささげますので、まずはご連絡ください。

若い力で頑張る広島 R A C。アイデアがあれば何でもお声がけください。（広島 R A C 会長 飯田雅也）

POINT

被爆地・広島を地域
基盤とするクラブと
して活動しています

Let's Collaborate

広島 R A C メールアドレス：hiroshima.rac@gmail.com
（千羽鶴を送付の際は、事前にご連絡ください）

あなたの地域で活躍するローターアクトクラブの取り組みを、編集部 hensyu@rotary-no-tomo.jp までお知らせください。

人のためとは？を考えて

ローテックス 砂川 ^{たすく}丞



ローテックスとして留学を希望する高校生のためにカウンセリングをしていると、数多くの難題にぶつかります。また、地区 R O T E X 委員

長としてメンバーの意見をまとめるのも簡単ではありません。しかし、私にはどれだけ大変でも、努力しようと思わせてくれる原動力があります。それは、「人のためになっている」という実感です。

思えば昔から、人のためになる活動にやりがいを感じていました。地域の防災広報を担う消防少年団は所属

12 年目。献血推進の学生団体の一員としても活動中。そんな私にとって、青少年交換プログラムはまさに渡りに船。派遣先のタイでは地区行事のチャリティーマラソンでボランティアをしたり、日本から来たロータリアンのために通訳を務めたりしました。特に印象深いのは公営病院への医療機器の寄付事業を手伝ったこと。そこで公営病院の厳しい運営状況を目の当たりにし、大学では社会保障制度への経済学的アプローチについて学びたいと思いました。現在は、高福祉とされる北欧諸国での実地調査のため再び留学を目指して勉学に励んでいるのと同時に、これまでの全ての経験を踏まえてローテックスとして活動できることに大きな喜びを感じています。

今年度はコロナ禍を経て再び活動ができるようになった最初の年です。そのような年に、ローテックスの委員長を務められることを誇りに思います。

東京都文京区出身。2019-20年度第2580 地区青少年交換学生としてタイへ派遣。コロナ禍により早期帰国。2023-24年度第2580地区 R O T E X 委員長。趣味：弾丸旅行。

母国の子どもたちに夢を

米山奨学生／ローターアクトー タクツラ・ジャガト

私は現在、大学で自動車運転時における眼球運動に関する研究をしています。実際に車を走らせ、視線センサーを使って眼球運動のデータを収集し、初心者と熟練者の運転データを比較、解析しています。また、4 月からは足利大学大学院工学研究科情報・生産工学専攻に進学して情報やシステム技術を学びます。卒業後は I T 企業に就職して知識を深めたいと考えています。日本で、5～10 年働いた後、母国ネパールへ帰り、日本で学んだ知識と経験を生かして I T 関連の会社を設立し、日本とネパールとの架け橋になるのが夢です。

私の生まれ故郷は首都カトマンズからバスで 30 時間も離れているアチャム郡。貧困のため大変苦労しましたが、日本への留学の機会を得た上に、米山奨学生にもなることができました。しかし、ネパールの現状は私の子

どもの頃と変わらず、教育を受けられない子どもが多くいます。そのため、子どもたちへの教育支援のために活動し、彼らに将来の夢を与えたいと私は考えています。



また、昨年 6 月に創立された足利大学 R A C（会員 30 人）に入会し、今年度は会長として活動しています。地元の花火大会後の清掃活動や献血活動、さらに子ども食堂の手伝いなど、ボランティア活動を通じて、奉仕の理念を学んでいます。

ネパール出身。栃木県足利市在住。足利大学工学部創生工学科システム情報分野専攻。奨学期間：2022年4月～24年3月。世話クラブ：佐野 R C。趣味：旅行、読書。

●皆さんの周りの若い人をご紹介ください！ ロータリーのプログラムに参加したことのある10～30代までの若者（現役、学友どちらも可）を『友』編集部にご推薦ください。hensyu@rotary-no-tomo.jp

難易度 ★★★★★

パズル制作／ニコリ

				8				
	6		2		5		8	
		4				7		
1								8
	3		9		4		6	
7								2
		7				5		
	2		3		8		7	
				9				

ルール

- ① まだ数字の入っていないマスに1から9までの数字のどれかを1つずつ入れましょう。0（ゼロ）は使いません。
- ② タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（9つあります）のそれぞれに、1から9までの数字が1つずつ入るようにします。

問題

二重枠に入った数の合計はいくつでしょう？

答え

おなじみのデザイン！

これで『友』電子版もスラスラ読める



毎月10人に
三菱鉛筆 uni タッチペンを
プレゼント!!

◆ パズル de ロータリー応募方法 ◆ 郵送での応募は郵便はがきに①「2月号の答え」②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事とその感想をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階（一社）ロータリーの友事務所 P 係までお送りください。④に関する回答は、「声」欄（縦組み）に掲載させていただくことがあります。会員以外のご応募も大歓迎です。

WEB 応募は下記の URL、または右の 2 次元コードから。
rotary-no-tomo.jp/puzzle.php



◆ 締め切り ◆ 2024年3月11日(月) 必着（当選発表は5月号）

● パズル de ロータリー（11月号）の答えと当選者は、横組み P44 に掲載しています。

詰め将棋



出題

日本将棋連盟
及川拓馬 七段

ヒント

角は捨てる
9手詰め 5分で2級

● 詰め将棋の解答は、横組み P44 に掲載しています。
（※詰め将棋にはプレゼントはありません）

8	7	6	5	4	3	2	1	
						王		一
				竜				二
				銀			爵	三
				爵				四
								五
								六
								七
								八
								九

【持駒】
角



*アメリカ・エバンストンは、国際ロータリー（R I）世界本部の所在地です

2024 - 25 年度会長テーマ発表



2024 年 1 月 8 日、国際協議会でステファニー・アーチック R I 会長エレクトは、2024 - 25 年度会長テーマ「ロータリーのマジック（The Magic of Rotary）」を発表しました。「誤解しないでください。私たちは魔法のつえを振って呪文を唱えるだけでポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません。それは皆さん次第です。プロジェクトを終える時、寄付する時、新会員を迎える時、皆さんはマジックを生み出すのです」

アメリカ・ペンシルバニア州マクマーリー・ロータリークラブ（RC）の会員であるアーチック会長エレクトは、ドミニカ共和国で浄水器の設置活動に携わった時、ロータリーのマジックを目にしました。汚い水がフィルターに流れ、反対側から透明な水が出てくるのを、2 人の少年が見ていました。「少年の一人が私の袖をつかんで、『もう一度魔法を見せて』と言ったのです。もちろん、その浄水器は魔法の装置ではありません。浄水器を輸送し、設置し、現地のリーダーと協力してメンテナンスを行うために、私たちは懸命に活動しました。安全な水を手でできるようになれば自分たちの人生が変わることは、少年たちも知っていました。少しでもその力になれたと知ったことで、私の人生も変わったのです」

平和を優先する

アーチック氏は、ロータリーの行動計画を推進し、継続と変化のバランスを取り、平和のために活動するよう会員に促しました。25 年には「分断された世界を癒やす」をテーマに会長主催平和会議を開催する予定です。

世界各地に拠点を置く平和センターは、多くの平和フェローを育ててきました。トルコのイスタンブールにあるパチュシェヒシュ大学に設置される最新の平和センターでは、25 年に第 1 期フェローが学業を始めます。「ロータリー平和フェローシップは、紛争を終わらせ、予防するきっかけとなる平和・開発の専門家を世界各地で育成する目的で、20 年以上前に始まりました。会長主催平和会議は、ロータリーの平和活動に焦点を当て、共に学ぶ機会となります」

アーチック氏はさらに、ポリオ根絶についても繰り返し触れ、ポリオプラス・ソサエティに参加したり、各地区のソサエティを創設するなど、ポリオ根絶のために全力を尽くすよう求めました。「地元の議員や政府のリーダーに、ポリオが現在も脅威であることを伝えて、ポリオ根絶への支援を呼びかけてください。ポリオ根絶は今も私たちの最優先事項であり、最大限のコミットメントが必要とされます。成すべき重要な仕事はまだ多くあります」

継続と変化のバランス

また、継続と変化のバランスを取ることへの必要性も強調。「どちらもロータリー行動計画の原動力。この計画は、ロータリーの最善のアイデアを捨てるのではなく、それを土台として築いていくもの。私たちは、バランスを取るという難題に直面しています。自分たちを変えつつも、自分たちの真の姿に忠実であり続けなければなりません」と述べました。さらに、クラブでの体験を会員にとって魅力的なものとするために、必要な対策を取るよう、求めました。「これは、皆さんの地区での活動方法を変えることを意味する

かもしれません。地区が過去 50 年間に同じ方法で行ってきたのであれば、おそらくそれを見直す時が来ているでしょう。地区内のクラブが活発に動いていない場合、または会員が減っている場合、地域社会にもっと合った新クラブを結成する時が来ているのかもしれませんが、クラブや地区が長年変わっていないからといって、誰も変化を望んでいないわけではありません。好ましい変化をもたらす一つの方法は、クラブで多様性、公平さ、インクルージョン（D E I）の原則を取り入れること。行動志向を持った次世代の人たちをオープンな心で迎えることを願っています。たとえば、地元クラブの典型的な会員とは異なるタイプの人であってもです。D E I を正しく理解すれば、共通の目的のために結束しやすくなります。共に献身し、力を注げばロータリーは、最も効果的で時代に即した存在になることができます」と述べました。

-Rotary International

統計

全世界ロータリアン総数

1,186,961 人

クラブ数 37,123 クラブ

地区数 520 地区

国と地域 200 以上

ローターアクト会員数 167,857 人

クラブ数 11,061 クラブ

国と地域 160 以上

インターアクト会員数 345,644 人

クラブ数 15,028 クラブ

国と地域 150 以上

2023 年 12 月 18 日現在

野生型ポリオウイルス による症例数

掲載ウェブサイト：
GPEI（世界ポリオ根絶推進活動）
polioeradication.org/polio-today/polio-now/this-week/（2023 年 12 月 20 日現在）

		2023年	2022	2021	2020
常 在 国	パキスタン	6	20	1	84
	アフガニスタン	6	2	4	56
非 常 在 国	モザンビーク	0	8	0	0
	マラウイ	0	0	1	0
世界合計		12	30	6	140



RI 指定記事

シンガポール国際大会

インスピレーションは
至る所に

国際大会で出会った人のおしゃべりが、意義あるプロジェクトにつながったとよく聞きます。

ある会員は、ソウル国際大会のシャトルバス乗り場で出会った人との会話が、アフリカでのプロジェクト計画に結び付きました。これこそまさに、大会テーマ「世界と希望を分かちあおう」。5月25～29日にシンガポールで開かれる国際大会では、隣にたまたまいた人や、食事の時に会った人と話してみたいかがでしょう。

国際大会でのペンキ塗り活動や分科会後のおしゃべりでインスピレーションをもらったという例もあります。グローバル補助金事業のアイデアを見つけるため、他の国に新しい友人をつくることを楽しみにしている会員もいれば、プロジェクトのパートナー候補者と出会う会員もいます。

国際大会でつながりを築いたロータリー会員たちは、難民へのシェルターボックスの提供、ロータリーアクト多地区合同情報組織の立ち上げ、ポリオ根絶の募金のためのプラスチックキャップのリサイクル、トイレ建設のためにインドのクラブとグローバル補助金事業を実施するなど、協力の輪を広げています。国際大会のもたらすインパクトがよく伝わってきます。この春、皆さんはシンガポールでどんなアイデアの種を見つけるでしょうか？

国際大会の参加登録はこちら
convention.rotary.org/ja



ロータリー財団管理委員長からのメッセージ

平和の礎を築く活動

最近の戦争や暴力のニュースには深く落胆を覚え、見るのがつらく感じます。特に女性や子どもといった罪のない人たちが、紛争の渦中にいると思うと心が痛みます。ロータリーにできることはあるのでしょうか。問題から目を背けることはできません。こういったときこそ、私たちはできないことではなく、できることに目を向けましょう。すでに効果があると分かっていることをさらに支援することができます。

2月は「平和構築と紛争予防月間」です。平和は重点分野の一つであり、ロータリーでの活動全ての中心にあるものです。私たちは外交官でもなければ、紛争地で働く平和構築者でもありませんが、ロータリーでは平和の推進と紛争の予防という活動が、毎日どこかで行われています。

ロータリー財団のどの重点分野を支援しようと、それは平和への貢献につながっているということを、全てのロータリー会員が、心にとどめておいていただきたいのです。例えば、地域社会での識字率向上に取り組むため、財団の補助金を活用して活動をしてみましょう。これにより経済をより安定させ、平和の礎を築くことができます。

環境から地域社会の経済発展まで、全ての重点分野で同じことがいえます。重点分野は地域社会を安定させ、貧困を減らし、教育を助長することができるのです。

プロジェクトの枠組みを超え、平和は、ロータリーというタペストリーに常に織り込まれてきました。1999年、明確なビジョンに基づく財団のイニシアチブを通じロータリー平和センターが設立された時、私たちはこのコミットメントを再確認しました。今月、トルコ・パチェシェヒシュ大学に新たなロータリー平和センターが開設されることで、このビジョンをさらに新たにします。同平和センターでは、2025年初頭に第1期フェローが学業を開始します。

ロータリーが世界でよいことを行うために進化するにつれ、数え切れない形で平和と理解を培ってきました。私たちの財団は、このビジョンに後押しされ、今後も大きな力となっていきます。これは、ロータリーの永遠のレガシーを形づくるでしょう。

財団の活動を支援することで、皆さまもこのレガシーの一翼を担うことができます。rotary.org/donateで、重点分野「平和構築と紛争予防」を選択していただき、この活動をご支援ください。平和構築と紛争予防を支えるにはさまざまな方法があります。

次なる一步を踏み出すかどうかは、皆さま次第です。

BARRY RASSIN

2023-24年度ロータリー財団管理委員長

【寄付のお願い】令和6年能登半島地震支援金 受け付けについて

令和6年能登半島地震災害支援本部 第2610地区ガバナー 原 勉

令和6年1月に石川県能登地方で発生した地震災害により、当地区内で甚大な被害が生じています。ガバナー会をはじめ、他地区からお見舞いのお言葉や支援に関する声が寄せられており、衷心より深く感謝を申し上げます。

当地区では「令和6年能登半島地震災害支援本部」

を設置し、被災地や被災者支援を目的とした支援金の受け付けを開始いたします。ご支援くださる方は、所属クラブ・地区を通し、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

受付期間:2024年1月10日(水)～2024年3月29日(金)

*使途内訳は支援金使用後、速やかにご報告します。

【寄付のお願い】ウクライナの人々に義足を贈る活動

さいたま大空ロータリークラブ

当クラブでは、ウクライナのキーウ多国籍R C (Kiyv Multinational Rotary Club)とのパートナーシップにより、日本から現地の国営義肢整形センターに医療用3Dスキャナーを贈る計画をしています。この新型機器の導入により、以前より短期間かつ安価、より質の高い義肢、義足を成形できるようになります。

ロシアとの戦争以降、死者・けが人は増え続け、義肢、義足の需要が高まっています。彼らの速やかな社会復帰を助けることが、将来の紛争予防につながると考えます。皆さまからの寄付金は、彼らへ贈る義足の製作費に充てる計画です。ご協力、よろしくお願いします。

■寄付金の概要

目的	ウクライナの戦争被害者に義足を贈る
募集要項	一口4万円から。何口でも可 (一口未満の金額も歓迎)
振込先	埼玉りそな銀行 大宮支店 普通 6284581 さいたま大空ロータリークラブ
締め切り	2024年2月中
備考	寄付金の振り込み後に、下記クラブメールアドレスまでご連絡をお願いします saitamaozorarc@gmail.com

パズルdeロータリー 11月号の答え

正解は①ウグイス ②カワセミ ③ハチドリ ④フクロウ

① ウグイス (ウグイ・椅子)

② カワ セミ (川・セミ)

③ ハチドリ (ハチ・千鳥)

④ フクロウ (苦勞・袋)

応募総数 99人 正解者 92人

当選者(敬称略・順不同)／河人宗寿(多治見リバーサイドRC)、佐々木隆一(横手RC)、服部範二(横浜中RC)、斉藤祐次(所沢RC)、峰松俊夫(日南RC)、片岡長司(高岡北RC)、近茂寛(能代RC)、名倉雅彦(浜松東RC)、太田貴志(山形東RC)、高橋宣充(札幌清田RC)

◆P41 詰め将棋の答え◆

▲3二銀不成△2二玉▲3三角△
1二玉▲1一角成△同玉▲3一竜
△1二玉▲2一竜まで9手詰め

この問題に関するお問い合わせは、往復はがきに、お名前、ご住所、電話番号をお書き添えの上、〒151-8516 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-39-9(公社)日本将棋連盟普及課ロータリーの友詰め将棋係までお送りください。

5	4	3	2	1
			竜	
		銀		王
				将
	将			

【持駒】なし

◆解説◆

初手▲3二銀成は△1二玉▲3三成銀△2二桂で詰まない。3手目▲3三角は退路封鎖の捨て駒。△同銀は▲3一竜以下早詰め。5手目▲1一角成が決め手で、玉を下段へ落とし▲3一竜の形が実現する。



地区別クラブ数・会員数一覧表

(2023 年 11 月末現在)

地区	R C 数	会員数	22 年 11 月末 会員数
第 2500 地区	65	2,237	2,246
第 2510 地区	69	2,423	2,429
第 2520 地区	76	2,058	2,099
第 2530 地区	61	2,208	2,233
第 2540 地区	40	1,098	1,130
第 2550 地区	48	1,625	1,666
第 2560 地区	54	2,035	2,015
第 2570 地区	50	1,588	1,595
第 2770 地区	72	2,335	2,354
第 2790 地区	82	2,691	2,710
第 2800 地区	49	1,515	1,519
第 2820 地区	55	1,892	1,873
第 2830 地区	40	1,108	1,120
第 2840 地区	45	2,068	2,080
第 2580 地区	73	3,038	2,934
第 2590 地区	52	1,868	1,874
第 2600 地区	52	1,851	1,889
第 2610 地区	64	2,524	2,529
第 2620 地区	74	2,896	2,881
第 2630 地区	73	3,134	3,094
第 2750 地区	98	4,624	4,615
第 2760 地区	84	4,666	4,683
第 2780 地区	67	2,387	2,334
第 2640 地区	64	1,580	1,609
第 2650 地区	95	4,281	4,339
第 2660 地区	77	3,448	3,530
第 2670 地区	74	2,868	2,914
第 2680 地区	68	2,553	2,551
第 2690 地区	65	2,958	2,883
第 2700 地区	60	3,164	3,113
第 2710 地区	72	3,188	3,179
第 2720 地区	74	2,361	2,379
第 2730 地区	68	2,396	2,369
第 2740 地区	55	2,107	2,109
34 地区合計	2,215	84,773	84,877

日本のロータリー
会員数 84,497 人
クラブ数 2,206

(左の表中 34 地区合計から、
第 2750 地区の P B グループ
を引いた数です)

ガバナー月信より 2750 ク
ラブ数・会員数は、P B グル
ープ 9 R C 276 (北マリアナ
諸島・グアム・ミクロネシア・
パラオ)を含みます。P 6「日
本のロータリー」数は 34 地
区合計から P B グループを引
いた数。22 年 11 月末 P B
グループ 9 R C 会員数 278
人。

地区会員数修正 1 月号横
組み P48 (10 月末) 表中、
2800・1,511 人、2750・
4,608 人、2700・3,159 人、
2730・2,392 人、34 地区合
計会員数: 84,597 人、表外
と P 6「日本のロータリー」
最終行会員数 84,319 人。

ご案内 左記一覧表は、3
つの地域順で色分けしてあり
ます。表中の左端の色と、横
組み P 46 奥付の日本ロータ
リー分布図の色を対照し、ご
覧ください。

*『友』ウェブサイトの「ロー
タリー資料館」にデータ修正
後の表を掲載しています。

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

新ロータリークラブ

大阪朋友 (2660・大阪府)

2023 年 12 月 1 日承認 会員数: 21 人

例会日: 木 12:30

例会場: シティプラザ大阪

会長: 高島凱夫 幹事: 福田忠博

新ロータリークラブ (既存クラブの合併)

三郷 (2770・埼玉県)

2023 年 12 月 2 日承認 会員数: 33 人

例会日: 第 1・3 火 12:30

例会場: 三郷市商工会館

会長: 宮田真人 幹事: 鈴木雄治

*三郷 R C と三郷ウェンズデー R C が
合併しました。加盟認証日は、元の三
郷 R C の加盟日を保持した 1979 年 5
月 24 日です。

新ロータリー衛星クラブ

東京板橋ユース (2580・東京都)

2023 年 12 月 12 日認可 会員数: 10 人

スポンサークラブ 東京板橋

例会日: 火 月 2 回 18:00

例会場: 板橋区立グリーンホール

レストランさんいち

会長: 齋藤和也 幹事: 高橋広樹

◆ 2024 - 25 年度版ロータリー手帳

ご予約受付中 詳細は、2 月 1 日付で
ロータリークラブにお送りしたご案内
状をご覧ください。活動に役立つ情報
をまとめた「ロータリー関連資料」も
付いています。ご注文は、ロータリー
の友ウェブサイトで承っております。
在庫がある限りの受け付けとなります
ので、お早めに。

定価 660 円 (本体価格 600 円 送料別)

令和 6 年能登半島地震により被
災された皆さまには心よりお見舞
い申し上げ、1 日も早い復旧・復
興をお祈りいたします。

ロータリーの友

3 月号主要記事予定

横組み 水と衛生月間

ロータリーの活動からみるトイレ事情

縦組み 福島に職住を定めた私 廃炉と復興への思い

経済産業省資源エネルギー庁 廃炉・汚染水・処理水対策官

廃炉・汚染水・処理水担当室現地事務所参事官 木野正登

この人訪ねて 藤田 大さん (富岡 R C)



◆お問い合わせは 一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

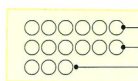
Tel. 03-3436-6651 Fax. 編集部 03-3436-5958 管理部 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp 管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp

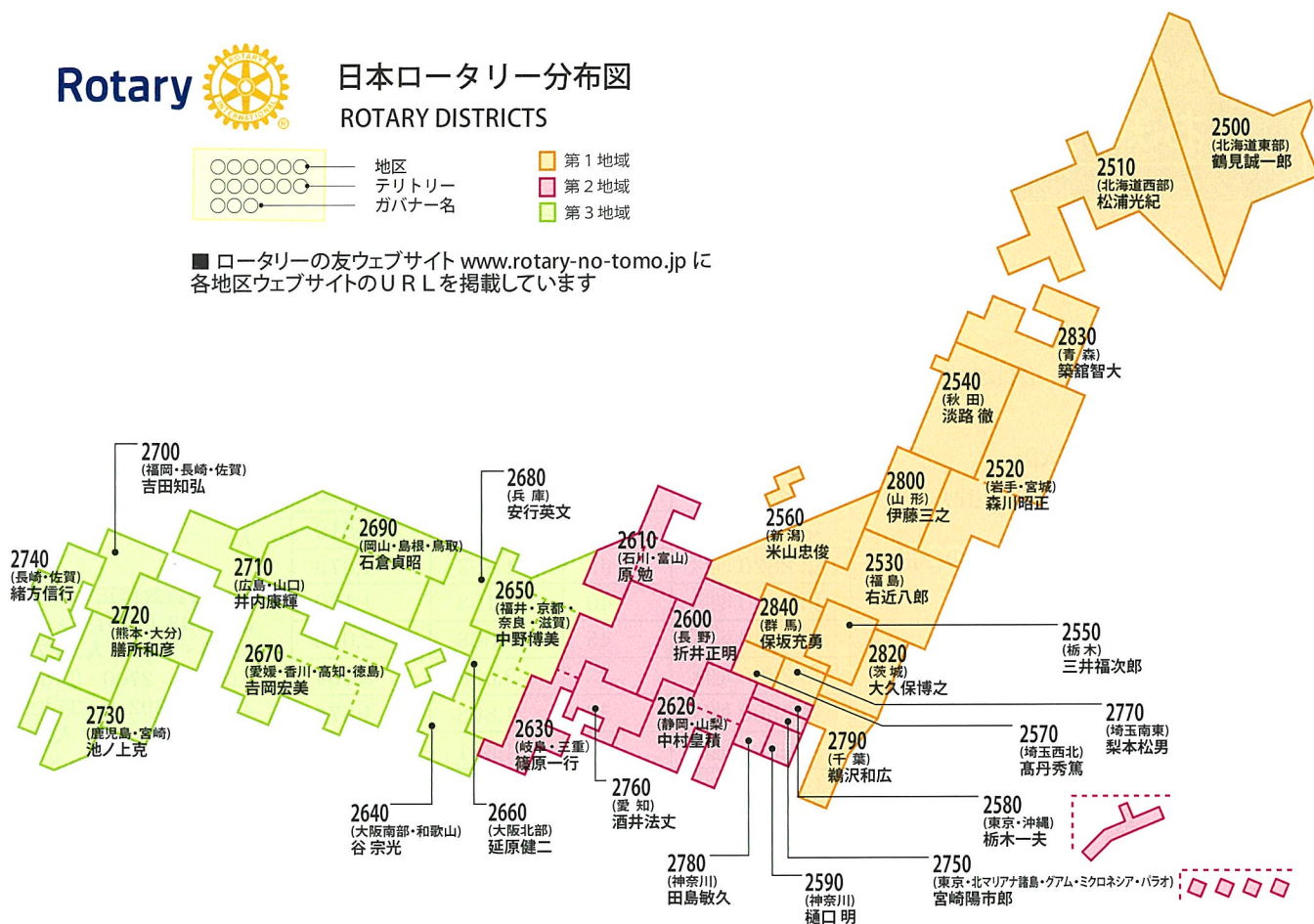


日本ロータリー分布図 ROTARY DISTRICTS



- 地区
デロトリー
ガバナー名
- 第1地域
第2地域
第3地域

■ ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp に
各地区ウェブサイトのURLを掲載しています



ロータリーの友委員会

委員長 高野孫左エ門 (甲府)
副委員長 鈴木 一作 (寒河江)
R I 理事 佐藤 芳郎 (岡山南)
R I 専レト 水野 功 (東京飛火野)
特別顧問 片岡 信彦 (土浦南)
橋本 長平 (京都東)
清水 良夫 (横浜)
片山 主水 (名古屋東南)
鈴木 宏 (宇都宮北)

顧問

久木佐知子 (旭川西)
黒川 伸一 (富山南)
堀川 貴史 (熊本南)
石川彌八郎 (東京福生)
伊藤 千恵 (東京恵比寿)
神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)
上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
地区代表委員
2500 佐藤 宗晴 (紋別港)
2510 斎田 義孝 (小樽南)

相談役

地区代表委員

2520 澤田 一幸 (仙台宮城野)
2530 相良 元章 (福島)
2540 村越 正道 (能代)
2550 熊倉 勝 (佐野)
2560 森 宏 (三条北)
2570 田久保真理子 (熊谷)
2770 坂巻 邦夫 (越谷)
2790 江上 俊彦 (千葉東)
2800 三浦孝一郎 (山形北)
2820 高沢 彰 (水戸)
2830 石川佳共子 (青森)

2840 石原 保幸 (前橋東)
2580 半場 慎一 (東京新都心)
2590 田代 靖之 (神奈川)
2600 西堀 恒司 (松本)
2610 吉村 伸成 (白山)
2620 小林 武治 (静岡)
2630 名里 貴志 (多治リバーサイド)
2750 門野 正尚 (東京城西)
2760 池森 由幸 (名古屋千種)
2780 中村 辰雄 (相模原南)
2640 中 勇人 (和泉)

2650 山下 尚治 (京都)
2660 北井 雄大 (大阪平野)
2670 坂田千代子 (徳島プリンス)
2680 入江 智美 (三田)
2690 和田 史朗 (松江しんじ湖)
2700 梅原 健 (福岡東)
2710 山内 恭輔 (広島南)
2720 武内 真司 (日田)
2730 尾形 栄 (延岡)
2740 小西 研一 (佐世保北)
編集長 野崎 恭子

月刊 ロータリーの友

第72巻2月号

2024年1月31日印刷
2024年2月1日発行

定価 275 円
(本体価格 250 円 送料別)

振込先

振込銀行 三井住友銀行浜松町支店
口座番号 (普通) 7450015
郵便振替 口座番号 00180-8-694591

印刷 大日本印刷 (株)
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)
表紙題字 加藤光峰
表紙編集 スタジオ ジャングル・ジム

● 落丁本・乱丁本は一般社団法人ロータリーの友事務局までお知らせください。
● 本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

一般社団法人 ロータリーの友事務所

■ 社員 佐藤 芳郎 (岡山南)
水野 功 (東京飛火野)
栃木 一夫 (東京北)
宮崎陽市郎 (東京三鷹)
樋口 明 (神奈川)
延原 健二 (大阪大淀)

■ 理事会

代表理事 高野孫左エ門 (甲府)
理事 鈴木 一作 (寒河江)

理事

片岡 信彦 (土浦南)
橋本 長平 (京都東)
清水 良夫 (横浜)
片山 主水 (名古屋東南)
鈴木 宏 (宇都宮北)
久木佐知子 (旭川西)
黒川 伸一 (富山南)
堀川 貴史 (熊本南)
石川彌八郎 (東京福生)
伊藤 千恵 (東京恵比寿)
横山 武志 (東京北)
恵川 一成 (大宮シティ)

理事

羽田 伊助 (東京目黒)
本田 博己 (前橋)
慶野 保夫 (小山中央)
野中 茂 (川崎)
神原 一久 (東京池袋豊島東)
渡辺 剛 (東京みなと)
野崎 恭子

監事 宮嶋 康明 (新千葉)
高野伊久男 (横浜西)

■ 職員

所長 渡辺 剛 (東京みなと)
編集長 野崎 恭子
編集 稲川やよい
山名 愛
飯田亜由香
熊谷健太郎
新見 圭太
管理 富澤 美子
半田 弥生
草野 淑美

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5958 (編集部) / 03-3436-5956 (管理部)
hensyu@rotary-no-tomo.jp (編集部 / 本誌の内容・投稿)
keiri@rotary-no-tomo.jp (管理部 / 購読・注文)
www.rotary-no-tomo.jp



SINGAPORE
シンガポール

国際ロータリー年次大会

開催期間 2024年
5月25日～29日



マリーナベイ・サンズ・エキスポ&コンベンションセンター
(Marina Bay Sands Expo & Convention Centre)、
ナショナルスタジアム(National Stadium)



RI指定の一流ホテルを中心に100部屋以上を確保してあります。

ビジネスクラス空席あります! 航空券のみも承ります!

航空券のみ

①シンガポール航空利用 成田発/成田着

旅行期間 2024年5月25日(土)～28日(火) 4日間

代金:530,000円+空港諸税 限定5席

5月25日(土)SQ-637 成田11:10発ーシンガポール17:20着

5月28日(火)SQ-012 シンガポール09:25発ー成田17:30着

②シンガポール航空利用 成田発/羽田着

旅行期間 2024年5月24日(金)～28日(火) 5日間

代金:580,000円+空港諸税 限定5席

5月24日(金)SQ-011 成田19:00発ー

シンガポール 5月25日(土)01:15着

5月28日(火)SQ-634 シンガポール13:55発ー羽田21:50着

A-1 日本航空利用 シンガポール 羽田発 5日間
旅行期間 2024年5月24日(金)～28日(火)
旅行代金 298,000円(エコノミー) ご集合:23日(木)21:00頃
750,000円(ビジネス) (燃油差額38,500円10月現在)

羽田ーシンガポール④(内1泊はレイトチェックアウト)ー羽田

日本の航空機を利用したい方のための大会参加コースです。

A-2 ①シンガポール航空利用 成田発/成田着 5日間
旅行期間 2024年5月24日(金)～28日(火)
旅行代金 359,000円(エコノミー)
旅行期間 2024年5月25日(土)～28日(火) A-2①4日間
旅行代金 766,000円(ビジネス出発日25日SQ637)

②シンガポール航空利用 成田発/羽田着

旅行代金 378,000円(エコノミー)

799,000円(ビジネス 往路A2②復路A2③)

③シンガポール航空利用 羽田発/羽田着

旅行代金 418,000円(エコノミー) (燃油込)

日本ーシンガポール④ー日本

SQは今や世界で屈指の航空会社です。航空関係の機関誌でも高く評価され、北米、ヨーロッパへも路線をのびています。

A-3 シンガポール航空利用 大阪発 5日間
旅行期間 2024年5月24日(金)～28日(火)
旅行代金 328,000円(エコノミー) (燃油込)

大阪一機中ーシンガポール④(内1泊アーリーチェックイン)ー大阪
クラブ単位での参加にも適しています。大阪発着のSQのビジネス
クラスは席数が少なく、ビジネスご希望の方には名古屋・福岡発着
をお勧めします。

A-4 シンガポール航空利用 名古屋・福岡発 5日間
旅行期間 2024年5月25日(土)～29日(水)
旅行代金 名古屋・福岡 328,000円(エコノミー)
名古屋 678,000円(ビジネス) (燃油込)

名古屋・福岡ーシンガポール④(内1泊はレイトチェックアウト)ー名古屋・福岡
名古屋・福岡発着のビジネスクラスを多数用意しております。
先着順ですが是非ご利用下さい。

【シンガポール滞在時のご宿泊ホテル】

A-1・A-3 コース<スーパーアクラス>コンコルドホテル
A-2・A-4・B・C・D・E・F コース<デラックスクラス>
JW マリオットホテルまたはグランドパークシティホール

ツアーパンフレットをご用意いたしております。

ご希望の数だけツアーパンフレットをお送りいたしますので、お申し付けください。

B 大会参加とクアラルンプール マレーシア航空利用 7日間
旅行期間 2024年5月22日(水)～28日(火)
旅行代金 367,000円(エコノミー) (燃油込)
698,000円(ビジネス) (燃油差額3,900円10月現在)

成田ークアラルンプール③ーシンガポール②ー機中ー成田

発展をつづけるマレーシアの首都クアラルンプールに3連泊。
マラッカへの日帰り旅行やOPでのゴルフを企画しています。

C 大会参加とバリ島 シンガポール航空利用 8日間
旅行期間 2024年5月24日(金)～31日(金)
旅行代金 羽田・名古屋・福岡 469,000円(エコノミー)
羽田 874,000円(ビジネス)
福岡 775,000円(ビジネス)
大阪 479,000円(エコノミー) (燃油込)

日本ーシンガポール③ーバリ島③ー機内ー日本

東南アジアで最大の人口を誇るインドネシアのバリ島は有数のビーチリゾートです。世界最大級の仏跡ボロブドゥールもOPですが組み入れました。

D 大会参加とベトナム2都市とハロン湾 日本航空利用 8日間
旅行期間 2024年5月20日(月)～27日(月)
旅行代金 478,000円(エコノミー)◇日本航空・2区間ベトナム航空利用
915,000円(ビジネス) (燃油差額28,900円10月現在)

成田ーハノイ②ーホーチミン②ーシンガポール③ー機中ー成田

国際線は日本航空を利用。人気の都市ハノイとホーチミンそして世界遺産
ハロン湾を訪れます。近年日本で働く外国人はベトナム人が一番多く約46万
人が働いています。そんな身近な国の文化や歴史的な背景を探索します。

E 大会参加とネパール訪問 シンガポール航空利用 9日間
旅行期間 2024年5月20日(月)～28日(火)
旅行代金 549,000円(エコノミー) 残席あり
998,000円(ビジネス) (燃油込) 満席御礼

羽田ーカトマンズ①ールンビニ①ーポカラ①ーカトマンズ①ー機中ーシンガポール③ー羽田

ネパールの首都カトマンズから北西に約350km、釈迦生誕の地ルンビニ
があります。聖地を拝覧した後、ヒマラヤ山脈の麓のエベレスト登山の
起点ポカラ、そしてカトマンズ(世界遺産)を見学します。

F 大会参加と釈迦巡礼の旅スリランカ マレーシア航空利用 10日間
旅行期間 2024年5月24日(金)～6月2日(日)
旅行代金 485,000円(エコノミー)
985,000円(ビジネス) (燃油差額3,900円10月現在)

成田ー機中ーシンガポール②ーネコンボ①ーシギリヤ②ーキャンディー①ーコロンボ①ー機中ー成田

1972年に国名をセイロンからスリランカ(光輝く島)に改めました。北海道の
8割くらいの大きさの島のハイライトを巡ります。仏歯寺やシギリヤロック、
紅茶畑や野生象の保護施設など、スリランカの魅力を凝縮したコースです。

NAC 日洋航空株式会社

観光庁長官登録旅行業第334号 社団法人日本旅行業協会正会員
海外緊急事故支援システム会員 総合旅行業務取扱管理者:長澤宏美
〒107-0062 東京都港区南青山 6-13-2 フルジヨン南青山 3F
URL: www.nichiyo-air.co.jp 担当:金澤、長澤、松本、李

お問い合わせ先



0120-347016



FAX 03-5774-5783



TEL 03-5774-5781



nas@nichiyo-air.co.jp

声

11月号の感想

『友』を読んで、「この原稿を書いた人にエールを送りたい!」「感動した」「知らなかった」などの感想、『友』そのものに關するご意見などを紹介します。

【対象記事】

特集・チャレンジ! グローバル補助金プロジェクト(横P7517)

【感想】グローバル補助金の申請は困難でハードルが高いと思っていました。台湾の友好クラブと何かできるのではないかと、勇気付けられました。要検討です。

東京池袋豊島東RC 小泉 博明

【対象記事】

特集・チャレンジ! グローバル補助金プロジェクト。保原RC・岩淵敦氏の「ルワンダの、歴史的に疎外された村に笑顔を」(横P14515)

【感想】少人数のクラブでも補助金の活用で、持てる力以上の奉仕活動ができる。やる気が必要とされる奉仕活動であれば、助けてくれる団体や協力者は必ずいるのだ、と思わせてくれる記事でした。

中条RC 富樫 寿彦

【対象記事】

座談会・トレーニングからラーニングへー見直される学びのあり方ー(横P20527)

【感想】トレーニングとの違いが理解でき、ラーニングの有効性が認識できた。流山中央RC 岩佐 祥一

【対象記事】

座談会・トレーニングからラーニングへー見直される学びのあり方ー(横P20527)

【感想】正直、ただ座って耳を傾けていればよかったものが、今後はそれなりの覚悟と準備が必要になりますね。高松RC 大平 昇

【対象記事】

ピックアッププロジェクト。大阪東RACの「ローターアクトクラブで世界初! グローバル補助金承認」(横P39)

【感想】補助金承認に至るまでのポイントが簡潔にまとめられていて、今後のお手本になる内容だった。

唐津東RC 松尾 裕

【対象記事】

ローターアクトワーク。富良野RCの「歴史を学ぶへそ祭りスタンプラリー」(横P33)

【感想】町の歴史が学べて、自由研究にもなる利点で、活動を効果的にしていると感心しました。

札幌清田RC 高橋 宣充

【対象記事】

スピーチ。中村恵氏の「UNHCRの上司、そして財団奨学生の先輩『緒方貞子さん』」(縦P458)

【感想】難民と避難民とは、各国の政治的立場と国際関係によって変わるんですね。UNHCRは政治的立場に關係なく援助しているわけで、その点はロータリーも等しくありたいですね。日立北RC 鈴木 國友

【対象記事】

この人訪ねて。大阪RC・嘉納治郎右衛門さん(縦P9512)

【感想】CMの「キクマサムネ」は口ずさめますし、今度見かけたら、ここのお酒を買いいます。記者の方が試飲のお酒を飲み干した……。当然です(笑)。能代RC 近 茂寛

【対象記事】

フードフォアソート「続・ごはんのお供」(縦P13)

【感想】「お米」一粒には七人の神様が宿っている。私も子どもの頃に言われたなあ、と懐かしく、ほっこりした気持ちになりました。そんなこともすっかり忘れて、当たり前のようにご飯を食べていました。日本人に欠かせない大切なお米。感謝の気持ちを忘れず、おいしくいたたけようと思えました。

札幌真駒内RC 桑嶋 英典

【対象記事】

卓話の泉。武藤隆是氏の「褒めるということ」(縦P21)

【感想】叱った側は数分以内に気持ちを切り替えられるが、叱られた側は一年以上引きずる、とありました。これは、子どもの頃のいじめた側といじめられた側の思いとリンクすると思えました。子どもたちに話をするとともに活用できる内容で、すぐためになりました。

柏崎中央RC 田村 学

●本文1500字以内。本文とは別に、対象記事名(例:〇月号「友愛の広場」、〇〇さんの記事)とお名前、クラブ名、連絡先を付記しお送りください。詳細は投稿規定または『友』ウェブサイトです。

卓話



■「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

サクラ

(有)藤本エクステリア代表取締役 樹木医 後藤 正直

日本で稲作が始まると、サクラの花の咲く時期を見て季節の移り変わりを知り、農作業を始める指標となりました。開花した日は山から田の神を迎える日とされ、秋の実りを予祝してさまざまな行事が行われました。貴族などは花を見ながら酒を飲み詩を詠い、ごちそうを食べました。

時代が移るにつれ、豊作を祈る儀礼としての意味は薄れ、江戸時代以降は行楽的な花見となり、今日に至っています。花見という習慣は奈良時代に生まれたとされ、外来種であるウメやモモを愛でていましたが、平安時代になると、昔からあるサクラが観賞対象に変わりました。

日本の山に自生しているサクラはヤマザ

クラ、オオヤマザクラ、カスミザクラ、オオシマザクラ、エドヒガン、チョウジザクラ、マメザクラ、タカネザクラ、ミヤマザクラ、クマノザクラの10種（もしくはカンヒザクラを含む11種）とされています。普段よく目にするソメイヨシノなどは、これらが人為的または自然に交配してできたものです。

江戸時代末、江戸の染井村（東京都豊島区駒込・巣鴨付近）の植木職人によってエドヒガンとオオシマザクラの交配でソメイヨシノが作られました。初めは、サクラの名所・奈良の吉野山にちなんで吉野桜と名付け売っていましたが、吉野山に自生するヤマザクラとの混同を避け、交配地の名をとってソメイヨシノと変えたそうです。

ソメイヨシノは、接ぎ木で増やします。普通、接ぎ木は根の付いた台木に穂木という枝を接ぐものですが、この品種は、マザクラの枝にソメイヨシノの枝を接ぎます。その個体を土に挿すと、マザクラはすぐに芽を出し1本の苗木になります。こうして作り出されたソメイヨシノは「自家不和合性」といわれ、同じ遺伝子を持つ他のソメイヨシノ同士との受粉はしません。いわゆるクローンなので、私は私、君は私、彼も私なのです。

(第2600地区・長野県・上田東RCにて同RC会員)

私の一冊

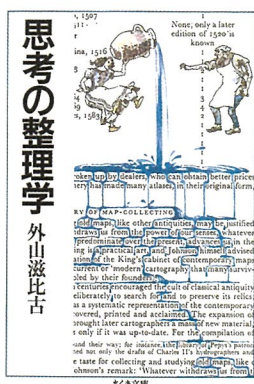
思考の整理学

長岡RC 高野 裕

今までの教育は、いわばグライダー人間を作ってきた。指導者がいて目標が明確な時代では高く評価されたが、今後は自分で自由に飛び回る飛行機を作らなければならない。グライダーにどうエンジンを搭載するか。グライダー人間では、コンピューターという飛び抜けたグライダーに仕事を奪われる。

思考は多くのチャンネルをくぐらせると良く、書いたものを声に出すと面白い。『平家物語』が「頭がいい」のは偶然ではないという。最近、生成AIであいさつ文を作ってみた。瞬時に作成してくれるが、そのまま使おうとしてもすらすらと読めず、結局、自分で原稿を推敲する羽目になる。文章を自分の中で「発酵」させた言葉にしないとダメだと実感する。著者はこれを、「情報の「メタ化」と表現している。

(第2560地区 新潟県)



外山滋比古 著
筑摩書房(ちくま文庫)
1986年4月刊



ベトナムからの米山奨学生の誕生日を、ファミリーでお祝い

した「瀬戸ロータリークラブ学友会」があります。

瀬戸RCが世話係を務め、実社会のさまざまな分野で活躍する学友たちの近況や学友の交流を報告する『瀬戸RC学友だより』も、不定期ながら発行しています。年度を超え、世代も超えて、交流・友好の輪が広がることは、私たちクラブ会員にとっても喜ばしいことです。

今年度も、ベトナムからの米山奨学生を受け入れています。今回、彼女の誕生日をロータリーファミリーで祝おうと、クラブの米山記念奨学委員会、親睦活動委員会と瀬戸ロータリークラブ学友会のコラボレーション企画として、「ロータリーファミリーの集い」を開催しました。

会員、会員家族、学友、奨学生、そして、同

じ区分内のクラブでお世話をするベトナムからの奨学生2人もゲスト参加。瀬戸市内にできたベトナム料理のお店で異国の食文化に触れつつ、楽しいひとときを過ごすことができました。

(第2760地区 愛知県 食料品販売)

「あいと地球と競売人」に思う

隠岐西郷 高井 初子

2023年10月1日発行の当地区『ガバナリー月信』で、「地区大会記念事業の選定について」の記事を読んだ。10月15日、島根県民会館において、松江しんじ湖RCが長年支援してきたミュージカル「あいと地球と競売人」が上演されるとのこと——。今日は10月10日。慌ててチケットを申し込み、当日、大勢の観客の中の一人名となった。

この作品は、小学6年生の女子児童の『地球の秘密』という漫画が原作だそう。環境問題について調べる国語の課題を、得意の漫画で表現したものらしい。数え切れない人たちのご尽力の下、上演されたミュージカルは期待以上のものであり、涙が止まらなかった。

ストーリーは以下のような内容だった。

暗黒の妖怪たちや死に神がどんな地球を汚してゆく。強欲な競売人は、汚れた地球ほど高く売れることを知り、もつともつと暗黒な地球にするようにと妖怪たちをあおる。しかし多くの子どもの強い思いや叫び声、天使たちの優しい導きに、競売人の心も変化していく。そ

して汚れを洗う雨だれたたちの緩やかな行動で、やがては美しい地球に戻っていく。

主催者、スタッフ、出演者の目的は、「地球の自然環境を大切にすること。今からでも遅くない」と観客たちに訴え、みんなができることを行動に移し、美しい地球がよみがえるための実践の渦を広げることだ。

このミュージカルに尽力した人、携わった人は数百人。島根県川本町の吹奏楽団の生演奏は、その迫力さで公演を大いに盛り上げた。フィナーレには割れんばかりの拍手とともに、目頭を押さえる人が目立った。

帰路の高速船の中で、私は思った。地球を汚す妖怪は誰だろうか？ さらなる権力や豊かさを追求する者たちでは？ 妖怪をあおる競売人は、便利さを求め続ける私たちかもしれない。私たちは先人たちに感謝し、未来を生きる人々に責任を持たなければいけないはずだ。

(第2690地区 島根県 不動産貸付)

Annotation

ハッカソン (hackathon) エンジニアやデザイナー、プログラマーなどのソフトウェア開発関係者が技術やアイデアを持ち寄り、短期間に集中してアプリなどを開発し、成果を競うイベント。ハック (hack) マラソン (marathon) を合わせた造語とされ、新規事業開発やIT人材育成などのため、企業や自治体などで行われています。

ローテックス (ROTEX) ロータリー青少年交換プログラムにより、海外で勉強した経験のある人たちとそのグループの呼び名です。非公式ながら、ロータリー世界の多くの地区で使われています。



制限時間内にアプリを開発し、アイデアを競う「ハッカソン」で快挙！

人たちと出会い、ハッカソンの出場を提案、メンバーを募ったそうです。そして今回、集まったスウェーデン、ノルウェー、チリ出身の仲間とチームをつくり、リーダーとして出場しました。テーマは「International Medical Aid」。外国人向けに医療機関ごとの対応言語や言語サポート情報を提供するという内容で、限られた時間の中、それぞれの意見やアイデアを出し合い、プログラミングし、アプリケーションやサービスを開発し、その内容を発表しました。

福井西RCでは、今回のカレンさんの快挙を祝福するとともに、これからも米山梅吉さんの遺徳をしのぶこの事業を通して、外国人留学生の夢や学業を応援していきたいと思っています。

(第2650地区 福井県 農業)

懐かしさに包まれた ホームカミングデー

人吉 春木 顕

2023年9月15日、人吉RCは、例会に元会員を招待して「ホームカミングデー」を開催。会員による特別卓話をメインプログラムとしました。

まず、24年で10年目となる、当クラブ独自の高校生向けの給付型奨学金「人吉RC奨学金」について、同制度設立に尽力してきた鳥井正徳会員が卓話。奨学金導入のいきさつと、いつか夢をかなえて恩返ししたいという学生からの言葉を紹介しました。

続いて、20年7月に人吉を襲った豪雨災害で、自ら被災しながらもキッチンカーで被災地に食を提供し続けた本田節会員から、災害支援時の心の持ちようや、苦勞しながらもやりがいを得た、という話がありました。二人の卓話は、ロータリーの基本理念の一つである「奉仕」について学ぶ、良い機会となりました。

引き続き行われた懇親会では、最初に北昌二郎会長から今回のホームカミングデーの企画意図、参加した元会員の紹介、併せて残念ながら参加がかなわなかった方々のコメントが披露されました。

転勤・転職、またはリタイアなどクラブを離れた理由はさまざまですが、久しぶりに顔を見ながらの懇親は、懐かしさに包まれて楽しい時間となりました。また、これからの活動への励ましを頂く、良い機会となりました。翌日に



クラブを離れても続く楽しい縁。今後は定例開催に？

はゴルフコンペも開催され、前日の例会に参加できなかった皆さんも加わり、楽しく交流しました。

この「ホームカミングデー」は今後も企画してほしいというリクエストがあり、クラブでは継続を考えているところです。

(第2720地区 熊本県 宗教)

ロータリーファミリーの集い

瀬戸 刑部 祐介

瀬戸RCには、米山奨学生、ロータリー財団奨学生、ローテックスが集まり、昨年度に設立



自ら炭火で焼いた焼き鳥を客に振る舞うジャクソン氏。
カウンターにジャクソン夫人、鈴木バスターガバナー夫妻

る「日米ロータリー談議」を行い、参加者の度肝を抜いたのです。

以来、二人は無二の親友となり、互いに訪問し合う交流が続いています。ところが、「ロータリーの感動は、体験共有の交流から」が Motto の二人は、観光地巡りの歓待では満足しないのです。

ジャクソン夫妻2回目の来県では、寒河江市内の中学校を訪問し、中学生が日米間の歴史を英語で語り、英語で議論し合うという90分のセミナーを開催。原爆投下にも話が及びましたが、歴史観と日米の将来像を真摯に語るジャクソン夫妻の姿に、鈴木さんは「してやったり」と思ったそうです。最後は全校生徒の大合唱で見送られ、感動の国際交流となりました。

このたびの3回目の来県では、山形の文化と地場産業を知ってもらうツアーを企画。具体的には、風呂敷文化の体験、畳作り体験、手編み草履体験、ニット工場の見学、ブドウ狩り。圧巻は、焼き鳥文化の体感と食感です。私の発案で、店主から徹底指導を受けたジャクソン氏。自ら炭火で焼いた焼き鳥をお客に振る舞うパフォーマンスで、店内は笑いと感動の渦となりました。

最後は、和文化の粋をこらした老舗料亭での夕食会。ここではクラブ会長をはじめ、鈴木ガバナー年度に地区役員だった当クラブメンバーで歓待です。当時の地区大会実行委員長だった大沼保義氏が病氣療養中の身でありながら出席、思い出の言葉と乾杯の音頭。そして、ロータリーの感動を熱く語るジャクソン氏、感謝の言葉を涙ながらに述べたジャクソン夫人。何より、みんなの話で感涙にむせぶ鈴木さんの姿が印象的でした。

閉会后、鈴木さんのご夫人から、ツアーの準備に奔走した私に「夫が目指した心熱い交流を、よくぞ支えてくれました」と感謝の言葉。思わず、「心の熱さだけは負けません」とお答えした私でした。
(第2800地区 山形県 石材)

米山奨学生 カレンさんの快挙

福井西 中村 敏雄

2023年10月22日、「都知事杯オープンデーター・ハッカソン2023」の最終審査において、

福井西RCが世話クラブ（米山奨学委員会・矢田義邦委員長）を務めるインドネシア出身の米山奨学生・カレンさんが参加したチームが、審査委員特別賞（行政ニーズ賞）を受賞しました。この大会は、社会課題を解決する手段として、東京都が保有するデータを積極的に公開し、これからの都民生活の利便性向上を目的に開催されたもの。公開されたデータを基に、参加チームがアイデアを競います。

72組659人がエントリーしてプレゼン形式で発表していき、優秀な作品18組を選出。さらに残った6組が最終審査に挑み、プレゼンおよび審査が行われました。

カレンさんは東京で友達のシェアハウスに住んでいた時、社会人やエンジニアなど多国籍の

うちの子



ボーダーコリーの女の子・ふじ（3歳）です。おやつとお散歩が大好き！動く物はなんでも追っかけてしまう癖があり、ご主人さまによく叱られています。

花城 直子（沖縄県・コザRC）

友愛の広場



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

「へそ」つながりで 友好クラブ締結へ

西脇 井上 勝彦

2023年6月8日、兵庫県の西脇ロータリークラブ（RC）は、北海道の富良野RCと友好クラブ締結調印式を行いました。新富良野プリンスホテルでの調印式には、当クラブから総勢8人が出席。また、オンライン上でも多くの会員が出席しました。

富良野市と西脇市は友好都市親善協定を結んでいます。きっかけは「へそ」。西脇市は東経135度、北緯35度の交差点「日本のへそ」です。また、富良野市は北海道の地理的中心で、既に「へそ」をテーマにした「北海へそ祭り」を毎年開催していました。「へそ」が取り持つ縁で1978年、両市は友好都市親善協定を締結しました。



大西会長(左)、櫻木会長が固い握手

その後、両市の人々は公私共に交流を深め、現在に至っていますが、ロータリークラブとして友好クラブ締結という形には、至ってはいませんでした。締結への機運が高まったのは、まさにこの1年くらいです。

2022年10月、この「へそ」つながりで富良野に仲間も多い村上康憲幹事（当時・以下同）がまとめ役となり、大西義文会長をはじめ、総勢12人で富良野を訪問し、例会に出席。前夜に設けていただいた歓迎会、2次会場で交流を深め、例会当日には富良野市長にも表敬訪問。富良野RCの櫻木裕行会長、荒木徹幹事をはじめ、関係者の方々の尽力に、感謝の念が深まりました。

次に両クラブが直接交流したのは23年4月、西脇RCの創立60周年記念式典においてでした。富良野RCから、櫻木会長を筆頭に多くの会員に参加いただきました。こちらも祝賀会、2次会と場は盛り上がり、翌日は近くの名所な

どを案内しました。

交流開始から1年足らずで友好クラブ締結に至ったのは両クラブの会長、幹事含め関係者の尽力のたまものですが、富良野RCの松田英郎バスターガバナー、西脇RCの高瀬英夫バスターガバナーの関係が良好であったことも、交流に拍車をかける要因であったように思います。

富良野での調印式は厳肅かつ和やかな雰囲気の中で行われ、櫻木・大西両会長の心温まるスピーチも、出席者の心に刻まれるものでした。例会にも出席し、後藤純男美術館、白金青い池、メロン狩り、バター作り体験、三笠市立博物館まで案内していただき、楽しく充実した時間を過ごすことができました。

今回の調印式を契機に、ますます両クラブの交流が深まることを確信し、富良野からの帰途に就きました。（第2680地区 兵庫県 測量士）

アメリカ人のRI会長 代理と続く心熱い交流

寒河江 遠藤 伸一

わが寒河江RCの鈴木一作バスターガバナーは、心熱いロータリアンです。2017—18年度の彼のガバナー時代、地区大会の国際ロータリー（RI）会長代理はアメリカ・プロボRCのデイン・L・ジャクソン氏でした。日本語が流暢な方で、来日前の国際電話で鈴木さんと意気投合し、2時間も話したと聞いた時、私はジャクソン氏も鈴木さんと同類だと確信しました。案の定、二人は地区大会で3時間を超え

石路点る軒の触れ合ふ裏小径

埼玉・川口中央 谷野日出人

正座から胡座にかへて衣被

大分・宇佐 磯永喜八郎

水澄むや水占いは吉と出て

岐阜西 眞鍋倭文子

秋天に綱引く力瘤眩し

埼玉・日高 竹内三吉

悔い多き日よゑのころ草を挿してみる

大分・日田 梅野啓子

穀つぶしとなりて幾年赤まんま

愛媛・西条 戸田孝一郎

野菊叢少し傾げる猫の径

石川・加賀 折橋紀与美

白萩のこぼれる庭やドビュッシー

千葉・富里 矢部正子

小春日の人間ドックより尼僧

奈良 田伏博子

いつの日かアサギマダラがくるよふに
今年も追肥藤袴の根に

奈良 寺田眞佐子

三輪山を神と仰ぎて古の
人踏みゆきし山の辺の道

東京ワセダ 福地桂之助

ボケ防止にナンプレ挑戦四苦八苦
解き終えし妻の教えたそうなる目

茨城・日立 鈴木一良

ぬばたまの夜空にひらく大輪の
花こそよけれスマホなれども

茨城・古河東 小山幸子

秋風が野焼きの煙を運び来る
懐かしきかな煙の匂ひ

三重・上野東 長谷川真嗣

ファミレスの注文ロボットが運び来る
礼儀正しく挨拶をして

千葉・富里 寒郡政雄

大好きな本をたくさん持ち込んで
巣ごもりをするコロナの五日

和歌山・田辺 山路 守

この暑さも一度やるか衣替え

福岡伊フニンダ 寺田孝英

まさか11月にTシャツ一枚で歩けるとは？
と思えば急に寒くてダウンジャケット、困ります。

無きように見えてまだ出るチューブかな

徳島眉山 榎原道治

私は、歯磨き粉チューブはお尻からギユウギユウ巻いてひと絞り。最後にチューブと吸ってます。

気分よく一〇〇円ショップで無駄遣い

神奈川東 山木幹夫

本当に今の100円ショップって品数豊富ですよ。
私は海釣りの仕掛け10個も大人買い。気持ち良い！

好きなだけ飲んだ挙げ句の肝機能

高知西 山岡陸宏

毎日飲めば悪くなるのは分かってます。私のALTは176。健診後は反省して、禁酒誓うのに。

メルカリに出しちやおうかな我が夫

新潟・吉田 佐藤昭子

おやおや、お連れ合いにここまで言われるとは、仲が良いですね。仲が悪ければ黙って家を出て行きますよ。

空を見るごめんなさいが言えなくて

青森・八戸 道尻誠助

胸にジーンと響きます。この年になるとなかなか素直に言えません。最初に「空を見る」と切り取った点が秀逸です。

投稿規定 ◇雑詠 ◇会員、家族、ロータリー家族 ◇一カ月に葉書で二人三句まで ◇締切 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話番号明記 ◇文字明確に ◇『友』俳壇係宛

投稿規定 ◇雑詠 ◇会員、家族、ロータリー家族 ◇一カ月に一人三首まで ◇締切 二〇日必着 ◇作品横にクラブ名・氏名、電話番号明記 メール可 ◇文字明確に ◇『友』歌壇係宛

投稿規定 ◇雑詠 ◇会員、家族、ロータリー家族 ◇一カ月に一人三句まで ◇締切 二〇日必着 ◇作品横にクラブ名・氏名、電話番号明記 メール可 ◇文字明確に ◇『友』柳壇係宛

俳壇

夏井いつき 選

溝萩や一番星を引き寄する

大阪心斎橋 西村拓夫

細長い穂のような紅紫の溝萩（みぞはぎ）の小花が揺れています。盆花（ぼんばな）として精霊棚（しょうりょうりやうだな）へお供えしているのでしょうか。夕空に清らかな一番星が瞬きました。溝萩の小さな花が一番星を引き寄せたように感じたのかもしれませんが。精霊を身近に感ずる盆の夕暮れです。

みどりごの手の大きさよ桔梗咲く

千葉・柏東 小沼宗心

生まれたばかりの赤ちゃんでしょうか。こぶしを握っていることの多い赤ちゃんですが、手を開いた瞬間にその大きさはととしたのかもしれませんが。赤ちゃんに取られ合われているのが、凜（りん）とした風情の桔梗（ききよう）であるのも新鮮な一句です。

掘割の鯉の引越し冬隣

富山南 升田義次

地面を掘って作った水路である「掘割（ほりわり）」。「掘割を泳いでいた鯉（こい）の引越しを詠んだ句ですが、積雪地帯の越冬のための引越しのように感じさせてくれたのが、季語「冬隣（ふゆとなり）」です。排雪溝にするのかもしれない、などと想像が膨らんでいきます。

コート脱ぐ重き疲れを剥がすごと

埼玉・川口中央 細井善次郎

歌壇

佐佐木幸綱 選

閉店のスーパーの窓さびしげに
非常灯だけが頑張っている

埼玉・所沢西 大原律子

戸や窓は閉め切られ、人の出入りはむろんなく、夜は真つ暗になってしまう閉店のスーパー。
生きているのは非常灯だけ。夜になると「頑張っている」感が伝わってきます。

寝入りばなの娘の電話、ホノルルに
家を買うという声の弾んで

東京板橋 和久井文治

時差の関係で、普通はかかってこない時間に電話がかかってきたのでしょうか。
いつもより声をはずませているのは、もちろん家を買うと決めた興奮のためでしょう。

全国にオンラインにて奈良のこと
わが商店街のこと熱く語りぬ

奈良 松森重博

柳壇

三遊亭白鳥 選

やっと冬がやってきたと思ったら、この寒さ。でも寒いと頭もスッキリするのでしょいか？ 今回は投句がたくさんありました。物価高、異常気象から政治問題、ロータリーの活動まで幅広い題材で皆さんが頭をひねって考えてくれているのを、うれしく思っております。私もまだまだ還暦、若輩者ですが先輩を見習って頑張ります。

天
高き峰值段も上がるモンブラン

東京池袋豊島東 小泉博明

私もモンブラン大好きですが、デパートで見たら1個1200円。まさしく手の届かない高い峰。麓で眺めるだけで、引き返してきました。アルプスのモンブランの標高は変わりませんが、ケーキのモンブランは来年、さらに高くなってしまふのでしょうか？

地
車椅子押し落ち葉踏む秋の暮れ

熊本・八代北 清水明美

車椅子にはどなたが乗っていらっしゃるのかな？ 落ち葉を踏む力サカサという音が聞こえてくるようです。紅葉に染まった秋の暮れ。人生の黄昏時（たそがれどき）ですね。ゆっくり優しく進みましょう。

人
「ジイ様」と母に言われて周りみる

福岡イブニング 甲斐総治郎

先日、都内で落語会がありました。開演ギリギリに行くと、いわゆる美魔女のお客さん2人が小走りに私を通り過ぎ、「お父さん、早くしないと落語始まっちゃうわよ」と言われてびっくり。つい、後ろを振り返りましたが私だけ。知らない人に「お父さん」と呼ばれる年になったんですね。

寒

い冬、熱燗を一杯。温まりますよね。こたつで暖を取り、障子

越しの雪景色でお酒を頂くなんて風流の極み。でも酒飲みの悲しさ、いつしか一杯が二杯三杯、風情なぞいずこへ。「お食事もしないで」と叱られても、「お米は食べなくても飲んでいるから」なんて……。確かに、日本酒はお米の酒ですけど。

酒造り用の米は普段食べているうるち米やもち米とは違っても、酒米を使います。違うとはいっても、酒米もうるち米。酒造好適米または醸造用玄米と呼ばれ、酒造りに求められる、特有の品質のお米です。粒が大きく、硬く、そして、中心の白く濁っている部分（心白）が大きいのが特徴。でんぷんが多く、雑味のもととなるたんばく質や脂質の含有量が少ないので、米を磨いて心白だけを削り出すと、雑味の少ないすっきりとした味わいの酒になります。山田錦、五百万石などが有名な銘柄米ですね。

酒米は通常の食用米として利用されるうるち米と区別されていますが、炊いて食べることも可能ですし、逆に食用米を使っ

Food for Thought

日本人とお米のはなし

続・日本酒で乾杯！

久保田英男

た日本酒も造られています。

そして、お酒造りで欠かせないのが「麴」。日本酒には米麴を使います。みそやしょうゆ造りでも使われる「麴」は、食品の発酵を促す微生物のこと。「麴」の字が示す通り、中国ではもともと麦から麴を作ることが多いことからできた字なのですが、皆さんはこんな字を見ただけで、皆さんこんな字を見たことありませんか？「糒」。この字も「こうじ」と読み、中国にはない日本固有の国字です。蒸し米に麴菌が付くと、その胞

子は米に花が咲いたように見えることからこの字ができたのか。「糒」は、その字だけが国産というのではなく、酒やみそ造りに使う「糒・麴」の多くは「二ホンコウジカビ」という日本固有の気候風土と千数百年の歴史が育てた国菌なのです。

「難しい話は後にして、もっと飲もう」という声が聞こえてきそう。

お酒を注文するとき、「お銚子もう一本」なんて頼んでいませんか。でも、出てくるのはお酒の入った「徳利」が多いですよ。あれこれ、「お銚子」と「徳利」って同じものの？お銚子とは、長い柄の付いたもので、杯に注ぎ移すための器のこと。結婚式の三々九度で杯に酒を注ぐときに使う、アレです。正月にお屠蘇を注ぐときに使う急須のような形のもは本来「提子」というのですが、江戸時代ごろからお銚子とも呼ばれています。

一方、首が細くて胴体が膨らんだ形の徳利は、しょうゆや酢などの貯蔵や運搬に使われる物でした。現在は燗酒から冷酒まで使える酒器として1〜2合程度の容量のあるものを指しています。注いだときに「とくとく」



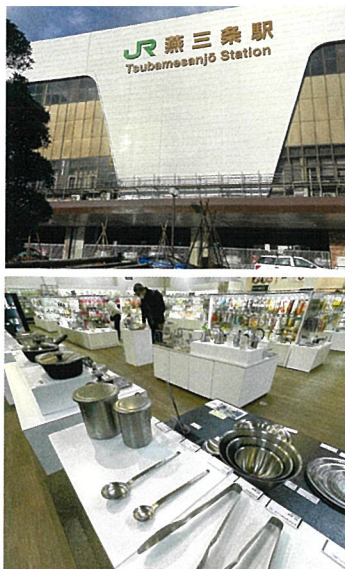
れ、円形の物だけでなく四角や六角などさまざま。その名の通り「ちよこ」つと小ぶりのサイズ感、少しずつ飲めるのがこれのいいところ。注ぎたての、より良い状態でお酒を楽しめ、燗酒を少しずつ飲むのに最適です。ぬる燗や常温のお酒には、飲み口が広く、ふわっと香りが膨らむ「ぐい飲み」がお勧め。「ぐいぐい飲む」「ぐいぐい」とかんで飲む「からぐい飲み」と呼ばれるようになったとか。

そう、日本酒はその温度を変えて楽しむことのできるお酒。大別して「冷や」と「燗」に分けられ、温度の低い方から「雪冷え」「花冷え」「涼冷え」「日向燗」「人肌燗」「ぬる燗」「上燗」「熱燗」とびきり燗といった名前が付いています。しゃれたネーミングに日本流の情緒を感じませんか。そして、様式美を兼ね備えた器は、手間をかけたお酒を、よりおいしく飲むための工夫。先人たちがこの米のお酒を大切にしてきたのが伝わります。

そして、お酒を「お猪口」に注いでおとつと。お猪口は本来料理を盛り付ける器を酒器として用いるようになったとさ

それでは、日本酒を守るためにもう一杯、雪見酒を頂きましょうか。え？もうすぐ春だぞ、ですって。もちろん、春になったら花見酒ですよ。

燕三条の道の駅は、ステンレス製品などが大量に並ぶ。福祉用品は「青芳」のウェブサイトから



でも地方行政が担当でした。4年半勤めて地元へ帰ると、画期的な取り組みが始まっていることを知った。私が母子家庭で育ったこともあり、青柳さんのお誘いを受け、スタッフになりました」

31歳の若さで、青柳さんの薫陶を受けていることになる。

どこでも青柳さんの話になります」
この推進力は青柳さんの大きな武器だろう。「青芳」に入社したのはまだ19歳のときである。会社は苦境にあった。
「おやじは作れば作るだけ売れる時代の経営者でした。95割を輸出し、1カ月で最高100万本の食器を作ったこともあった。しかし、国際情勢、為替事情に大きく左右される。1ドル360円で大もうけしたが、1ドル80円の時代もあった。輸出依存型の経営は幕を閉じつつあり、『帰ってこい』と言われ、専門学校を辞めて帰りました。私は平らな道を歩いてきたことはなく、這いつくばってきた。恵まれた2代目じゃないですよ」
青柳さんは視点を換え、「製造」よりも「開発」にベクトルを変えた。
「商品を自社で製造する会社でしたが、20年ほど前から、商品を企画開発して製造は外注、品質管理は自分たちでやり、そして販売する。今はファブレス（工場を持たない）メーカーになりました」
冒頭で紹介した「ヴィンテージシリーズ」など多くの商品は、青柳さんのアイデアを製造現場が具現化したものだ。
青芳の特徴として、福祉用具の充実がある。手や指の変形、握る力の弱い人のためのスプーンやフォークは、持ち手の部分が形状記憶ポリマーで作られ、使う人の手に合わせて形が変わる。
「私には2人の姉がいて、7歳年上の姉はポリオでした。生後14日目ぐらいで

高熱が出て、だんだんと病状は重くなっていった。誰かの助けがないと食べられないので、そのための食器を父が考案し、義理の兄貴が受け継いだ。障害者、高齢者用の食器は、うちが日本で一番早くに作ったと思います」
お姉さんは昨年10月に69歳で亡くなったが、商品に込められた青柳一家の理念は今も生き続けている。

テキーラマスターが感じた「背中」

青柳さんの活動はさらに活発化している。リノベーション事業部ができ、自社の建物をはじめ、レストラン、公衆浴場、住宅、商店などの改修工事に忙しい。

「優良企業ではありませんが、自己資本比率は低くないので、銀行はいくらでも貸しますと言う。でも樂觀はしてませんよ」

実際にテーブルや食器を使ってもらうレストラン事業、間もなく出来上がるサウナ施設など、青柳さんの夢とプランは次々と実現に向かっていく。

話し込んで夜も更け、
「ちよつとバーに行きましょう」
と入った店は「トライアングル」。マスターの沼田基さんが笑顔で迎える。

「はい、テキーラいきましょうか」
無理して2杯飲んでフラフラしたが、沼田さんの経歴は面白い。横浜出身で、

電気工事の現場監督などをして10年働き、その後は46カ国を回る旅に出た。世界中の旅人が集まるゲストハウスとバーを作りたいと、燕市にやってきた。

「2019年4月にオープンし、順調でしたが、コロナで20年4月にいったん店を閉じた。やはりコロナで行き場を失っていた友人9人ほどがゲストハウスにいました。青柳さんが来て、『くじけるな。うちの会社の隣の建物をみんなに1年貸すから住んで仕事しなさい』。20、30代で、大阪、兵庫、和歌山、静岡などからの移住者たちです。カメラマンやユーチューバー、アクセサリーのクリエイターとか、みんな必死で仕事を考えてつくり、働きました。5日連続で2万アイテムの物撮りをするとかね。今、仲間たちは商店街のあちこちで拠点をつくってます。バーは21年に再開、ゲストハウスも最近再開できました。3年間すごい背中を見せてもらいました」

酔っているのかいないのか、青柳さんはぶつぶつ言っていた。

「地域を変えるのは若者、よそ者、ばか者というでしょ。私はばか者だね」
ロータリー、地域を巻き込む青柳さんの闘いはまだ始まったばかりである。

青柳修次（あおやぎしゅうじ）1961年、新潟県燕市生まれ。地元の高校を卒業後、東京の専門学校に進むが中退。80年に（株）青芳に入社。2002年代表取締役社長。2010年燕RCに入会。2011年度燕RC会長。23、24年度地区職業奉仕委員長。



後ろで立っているのが玉橋さん、右端が沼田さん（仲町の「つばめベース」で）

用品を物々交換するコーナー「ずっぺベース」もある。「ずっぺ」は隣の三条市の方言で「おあいこ」という意味だ。「三条市の『三条ベース』の取り組みを यूチューブで見えて教えていただきました。良いものはすぐに取り入れます。駐車場近くに設置した『新潟コミュニティフリッジ』もそうです。岡山市北長瀬で初めて設置されたニュースを見て電話で問い合わせました」

いわば「公共冷蔵庫」である。新潟県在住で食料品や日用品の支援を必要と18歳未満の子どもがいる対象世帯が登録すれば、24時間人目を気にせず無料で利用できる。

青柳さんはすでに21年7月から、会社敷地内で食料品を提供する「フードパントリー」を始めていた。

「私の会社は燕市の中心部から車で10分ほどの工業団地にあり、車でないとなかなか来られない。町中でそれができたら、と思っていました。『新潟コミュニティフリッジ』で実現した。全国で10カ所しかなく、うちが9番目です。友人のロータリアンが動き、冷蔵庫は大阪のメーカーに寄付していただき、食材は賛同者の個人や企業、新潟県フードバンク連絡協議会よりいただいたり、買ったりしています。フードロス対策でもある。人気があるのはやはり生鮮野菜で、朝入れると翌朝には空っぽになりますね」今後、教育支援も展開する予定だ。

一方、やはり空き店舗を改装した「宮町拠点」でも食の支援を展開している。飲食店がほぼ消えた商店街に「宮町食堂」を開いた。

「週5日営業で、高齢者でもお一人さまでも、昼夜を問わず気軽に入れる店にしたい。和食中心ですが、イタリアンシェフだった料理長が頑張つて『牡蠣のアヒージョ』なども作ってくれます」

「宮町食堂」は「こども食堂」にも変身する。12月10日の第1回には、2部制で約70人が集まった。誰でも入ることができ、子どもは無料で、大人は有料。300円のコロッケカレライスはボリュームもあり、優しい辛さでおいしかった。これから「フードバンクつばめ」の活動には当然、多額の資金が必要になる。

「改装費用だけで新築1軒が建つほどで、気が遠くなるぐらい持ち出しています（笑）。しかし個人の力で継続することは難しい。一口1万円で企業広告を集め、それを運営費やリノベーションの費用に回します。寄付金を『早く取りに来いよ』と言ってくれる人も多いし、これだけ大きなことを始めて本当に大丈夫なのか、そう心配してくれる人もいます」

スタッフの一人に玉橋尚和さんがいる。父親の実家が宮町の銭湯「玉宅湯」。明治10年創業で、今でも営業を続けている。玉橋さんは慶応義塾大学、京都大学大学院を経て総務省に入省した。

「学生時代は地方自治を学び、総務省

青柳修次さんの活動は多岐にわたる。まず、新潟県燕市の(株)青芳の代表取締役社長。創業は1955年で、父親で現在の青柳芳郎会長が「あおよし製作所」としてスタートさせた。生活雑貨・福祉用品の企画開発、製造、卸、販売を手広く展開する会社を切り盛りする。

燕市といえばステンレスのスプーンやナイフなどの金属洋食雑貨(カトラリー)で有名だが、青芳の主力商品はピカピカのステンレスにあえてダメージ加工を施した「ヴィンテージシリーズ」。シックな味わいが出て、さらに無骨に濃い黒に染めた「青芳ブラック」は国内外で高い評価を受けている。

そして2023年11月、燕市の商店街の仲町、宮町にオープンした「フードバンクつばめ」の理事長でもある。ひとり親世帯、生活保護世帯といった家庭の子どもなどを支援する特定非営利活動法人で、設立当初から現在まで、青柳さんは中心的な存在として動いてきた。

さらには第2560地区(新潟県)の23―24年度の職業奉仕委員長としても活動している。

「私はロータリーの異端児だと思っていますけどね」

と、青柳さんは言う。

まず、20年の話から始まった。

「仕事で1月に中国・広州の見本市に行き、2月はドイツ・フランクフルトの見本市にも行きました。いずれも世界は新型コ

ロナでどうなるのかといった雰囲気でした。そして2月中旬、日本も世界もガラッと変わり、新潟も様相は一変しました」

公共冷蔵庫、子ども食堂など新装開店

青柳さんは当時、20―21年度の燕ロータリークラブ(RC)の会長になることが決まっていた。

「近隣市のフードバンクがひとり親世帯に食料支援をする話、学生のアルバイト先がなくなったり、仕送りが途絶えたりするなどの話が絶え間なく聞こえてきました。コロナは大きく社会を変えた。目の前に苦しむ人が燕市、新潟県内にたくさんいたわけです」

新潟県の自殺率が高いことも知り、大きなショックを受けたと言う。

「ここ10年、新潟は全国の自殺率のワースト5に入ることが多い。原因の一端として貧困があることは容易に想像できる。ロータリーは社会への貢献、奉仕を常々うたっています。今こそ活動すべきだと考え、地区大会でも提言した。ロータリー

は一国一城の主が多く、日頃から決断を重ねてきた人たちの集まりです。しかし、非常時に組織としての動きは鈍かった。

『子どもは地域の宝だ』と言うことは誰でもできるが、主体的に活動する人はなかなかいない。まず自分でやろうと思いました」



こども食堂が、この日オープン。看板は市名の燕を掛けてツバメをデザイン



こうして青柳さんは「フードバンクつばめ」の設立に力を注ぎ始める。

「近隣市にはどこもフードバンクがあります。燕市も以前から活動してきた方がいますが、小規模なものにとどまっていた。近隣市のフードバンクが燕市の一〇〇世帯以上の貧困家庭に食料支援をしている現状も知った。燕市には約700世帯のシングルマザーもいる。燕RCの会員と相談し、燕でもやるしかないと思いました。理事10人中、燕RCの方が5人、近隣クラブとライオンズクラブの方にも理事になってもらい、21年10月にNPO法人の認可が下りた。クラブ創立60周年事業のお金も一部活用させていただきました」



クラブ内で青柳さんの発言を苦々しく思う人もいたが、賛同者も次第に増えていったのである。まず、かつてにぎやかだった商店街の空きビルに目をつけた。

「かつて銀行の支店で、1階は駐車場になっていたビルをリノベーションしたのが『仲町拠点』。この1階が『つばめベース』で、誰でも気軽に利用できる子どもの秘密基地、居場所ですね」

マンガや駄菓子、卓球台などが置かれている。WiFiもあるが、懐かしいインベーダーゲーム機もある。

「駄菓子は普通のスーパーの価格より安い設定で、『うまい棒』は10円。今は税抜きで12円が定価ですから原価割れです」サイズが合わなくなった衣類など、不

この人
訪ねて

青柳修次

さん 燕ロータリークラブ

コロナ禍で
ロータリーを
見つめ直す日々



島の戦い」を典拠とする戦がテーマの演目です。

義経は、平家を滅ぼすことに寄与したにもかかわらず、兄・頼朝により自害に追い込まれた悲劇の英雄であり、「判官最^{びい}后^ご」として、今の日本でも好まれる人物です。

しかし世阿弥は、義経こそ地獄に堕^おちると考えました。中世、この世で戦をする、いくら極楽往生を願ってもかなわず、修羅道^{しゆらどう}という、争いの絶えない地獄に堕ちると考えられていました。『平家物語』で描かれる屋島の戦いでの、那須与一^{なすのよいち}による扇の話を思い出してください。扇を見事に打ち抜いた与一をたたえるため立ち上がった平家の侍を殺すよう、義経は与一に命じます。いくら戦中とはいえ、それはあまりにむごい。

著名な義経弓流しのエピソードも、彼が戦における名誉を第一に考えていた証しとなります。世阿弥の生きた室町時代には、戦に優れていても、戦に執着する義経が修羅道に堕ちるのは当然、と考えられたのです。

これを能の舞台ではどう演じるか。

「複式夢幻能」です。旅の僧が今の香川県^{かがわ}の屋島に着き、老漁師の家に宿を借ります。その夜、僧が屋島での戦物語を所望、老人は義経のことを詳しく語り、名を尋ねられて「よし、常^{とこ}（義経）の憂き世の夢しばし覚まし給^{たま}ふなよ」と姿を消します。

その夜、僧の夢枕に義経の霊が現れ、今も続く戦のありさまを見せ、夜明けとともに消え失せます。

凛々^{りんり}しい姿の義経ですが、その舞台を見てみると、戦の前の恐怖、ひとたび戦が始まれば矢や刀で受ける肉体への苦痛、終わりのない絶望……苦しみ、悲しみしかない戦が、いかに虚しいものかが描かれます。

戦への執着ゆえに、義経は来る日も来る日も修羅道の地獄で、戦をしなければなりません。世阿弥の時代は戦の続く憂き世でした。「屋島」を通して、戦の不条理、無意味さ、悲しさを彼は訴えます。

能は江戸幕府の「式楽^{しきがく}」となりました。武道において、相手は自分の人格を高めてくれる人として、礼を尽くす対象であり、この精神は、戦を嫌う能に通じるものです。

こうして、武士は教養として能を学び、世阿弥の思想に近づきました。能は絶対の非戦を訴える芸術なのです。

次世代へ伝える能の力

今日の講演からもう、4年前になりました。私はウクライナのキーウを訪れ、国立大学、国立劇場などで能の講演、実演を行っていました。ウクライナとロシアとの間には、2014年から紛争状態が始まったとされますが、その日も東部戦

線で戦死者がありました。その時、私のお世話をしてくださった学者が「若い命が失われて、こんなに悲しいことはないけれど、彼らが命を懸けて戦っているおかげで、このキーウの文化芸術が守られている」とおっしゃいました。

戦争には絶対反対したい私も、その時のウクライナの現地に立つと、平和な日本から訪れた者が、簡単に「戦いは無意味だ」などと言える状況ではありませんでした。その時は、「屋島」を通して、戦で命を失った魂を鎮める能の精神性を紹介して、私の気持ちを伝えたことになりました。つらい経験でした。

能はこれだけ長く続いてきており、その中には日本文化の基盤となる精神性を宿します。伝統文化というと、古い物がそのままあるように思われますが、常に時代に合わせて変革が行われ、その創造性があるからこそ、同時代性を保って普遍的な価値を持つようになるのです。

その中で能の主題は、大きく捉えれば、祝福、鎮魂、自然との共生と言えるでしょう。このように自然に逆らわず、謙虚に共生し、幸せを祈り、死者を慰撫して、長い歴史を経てきたのは、日本の文化の特色の一つです。これらを考えると、今日盛んに議論されるSDGs（持続可能な開発目標）の概念にさえつながる、いや先取りしていた、といえるのではないのでしょうか。

次世代の人たちが能のような自国の文

化を知り、足下^{そくか}を意識して自己肯定できれば、他者と出会ったとき、その違いを尊重し、尊敬して向き合うことができそうです。そうなれば、世界はどれだけ平和になるでしょう。能の力で、文化の力で、世界を平和に。

これからの私の課題です。

（ホスト 荒尾RC）

SPEECH



能楽師 観世流シテ方 河村 晴久

重要無形文化財「能楽」総合認定保持者

1956年生まれ。幼少より父・河村晴夫の教えを受け、3歳で初舞台。13世林喜右衛門師に師事。同志社大学大学院修了。現在、同志社大学客員教授。（公社）能楽協会京都支部支部長、ほか役職多数。京都河村能舞台を中心に活動中。2005年 平成17年度文化庁文化交流使として1カ月半、アメリカカナダに滞在。ハーバード大学をはじめ、多くの大学、美術館で講義、公演の文化交流を行う。海外の英語での授業、レクチャーデモンストレーションも多数。200年 京都府文化賞功労賞受賞。



「屋島」は戦がテーマ。戦がいかにも悲しく、無意味であるかを描く。写真提供…河村晴久 写真撮影…井上凱彦

本舞台の床の前端は奥より1寸（約3・03センチ）低いのです。太鼓の撥がゆつくりと転がる程度に、ほんの少し床が客席側に向かって下り坂になっており、演者がまるで、坂を下って前に迫ってくる効果をもたらします。能の演者には前後の動きが多いので、その奥行きを感じら

れるよう、このようにさまざまな工夫が施されています。そして逆説的ですが、4本の柱で空間を区切ることで、さらに奥行きを感じられるようになるのです。舞台上で演者は、神に、鬼に、女に、男に変身します。いかにそのものらしく表現するかが、世阿弥以来、追求され続

けています。基本、能の方法は日常的動きをなくし、「構え（基本の立ち姿勢）」「運び（歩行）」に支えられた「型（定型の所作）」によります。何かを指さす動作、これを能の動きで表すと「サシコミ」「ヒラキ」という「型」になります。左足、右足と二足前に進みながら、右手の

扇を前に出して対象を指す。次に左、右、左と三足下がりながら両腕を広げ、もとの「構え」に戻ります。単に何かを指すだけでなく、そこに愛する人がいる、そこに敵がいる、といった表現も、動きは同じ。しかし、氣迫を込めた表現には恋や怒り、恨みの感情が表出します。

「サシコミ」の手の動きを例にとれば、扇を持った右手の指先、手首、腕の関節などは動かしません。腕全体が前に出ていきます。基本姿勢から関節をクネクネ動かさずに扇の前に出す。口で言えば簡単ですが、これがなかなか難しい。動きを切り詰め、少ない動きで密度を高めるのが能の表現です。足し算でなく引き算の思想です。

海外の役者に能の技法を伝えようとすると大抵、感情を精いっぱい表現しようとなさいます。「何もしないで、表現する」という技法が一番難しいようで、表現に対する思想の違いは、実に興味深いものです。演者に存在感があり、地謡が情感を謡い、見ている方が想像力を働かせれば、見えないものが見えてくる。そんな世界が能の舞台なのです。

絶対の非戦を伝える

一例として、世阿弥の作品「屋島」をご紹介します。源義経を主人公とする「屋島」は、『平家物語』で描かれる「屋

猿樂にとって一大転換点が訪れます。

義満という人は、武力で世を統治する武家の棟梁でありながら、平安時代の貴族文化に憧れた人でした。室町幕府の御所には、各地の守護大名から献上された四季折々の花木を配置し作庭しました。義満はその美しさからも「花の御所」と評された幕府をつかさどり、北山に金閣を築くような將軍でした。

こんな義満の嗜好に合わせるべく、猿樂の描く世界も、それが生まれた頃の形とは変わります。民衆の中から生まれた芸能は、『源氏物語』『伊勢物語』さらに『平家物語』などの古典を基にした文芸路線を歩んでいきます。芸術としては、より洗練された姿になっていくのです。

新しい猿樂の仕立ては、のち「複式夢幻能」と称されるようになります。ストーリーが単線に進むのではなく、二つに仕立てられるからです。

まず、舞台上の旅人の前に、仮の姿で何者かが現れます。昔の物語をして思いの丈を語り、自分はその物語の主人公であることをほめかすだけで、その何者かは消えます。

その夜、その何者かは、再び旅人の前に現れて、この世の者ではないという正体を、聞き手である旅人に示します。実は、何者かとは、古の物語の主人公。その主人公は死者としてなお思いを語り、旅人に慰撫され、救われ、姿を消してゆきます。

SPEECH

この全てが夢の中の物語。舞台が二場に構成され、最後は旅人の夢が醒めるので、「複式夢幻能」といわれるのです。

夢幻能は、死者による語りが基本構造となっています。能には、物語の進行がそのまま描かれる、一般的な演劇と同じ仕立ての「現在能」もありますが、世阿弥はこの「複式夢幻能」を確立することにより、普遍的な主題を描くことに成功しました。

「複式夢幻能」の構成は、物語が死者の一人称視点で語られることになり、生前の心理描写などが生々しく感情移入しやすいため、鑑賞している聞き手は物語の中に、より没入しやすくなります。脇役(ワキ)の夢の中で主役(シテ)が夢を見ている、という一見難解な構造が、他には例を見ない、物語世界をつくることを可能にするのです。

戦で命を落とした侍の苦しみ、人を愛

すること、親子の情愛、危機に瀕した人の振る舞い、極限状況での心とは？ これらは全て、時を隔てた私たちにとって、共感できる普遍性を持つ主題、テーマではありませんか？ 夢の中の夢の世界の中で、いつの世も変わらぬテーマが生き生きと繰り広げられるゆえに、能は古くならないのです。どんな時代でも能の精神は変わりません。

見えないものが 見えてくる舞台

もともと、世阿弥の時代、能は寺社の境内や河原など野外でも行われ、一日に十数番上演されるものでした。今のうちに「能舞台」だけで行われていたわけではありませぬし、現在の上演時間ではとてもかなわない番数です。ということは、一曲当たりの上演時間がかかり短く、つまり所作も大ざっぱというと語弊があるかもしれませんが、即興性の要素も加わった、もっとおらかなものであったと思われまふ。

桃山時代になり、ほぼ現在と同じ能舞台が完成し、ここでもた、能の演技の変化が生じます。舞台の床にはヒノキの板が客席に向かって真つすぐ縦に張られるようになりました。滑らかな床を、足の裏で摺るようにして静かに歩く、日本の武道や芸能に特徴的な摺り足で、進むようになります。端正化していく演者の所

作に、より磨きがかかりました。

ただし、江戸時代を通じ能舞台は屋外にあったため、屋根がありました。庭を隔てた別の御殿から人々は観能しました。本舞台は三間四方(約5・5メートル前後)のほぼ正方形。舞台全体を建物で覆う現在の能楽堂の形ができたのは、幕末以後です。この段階で屋根、4本の柱は機能的には不要となったわけです。

しかし能は必ず屋根、柱を設けます。今、相撲の土俵では昔あった柱をなくして屋根をつり下げていますが、能舞台では柱、屋根は今も必須です。というのも、演者の着ける能面の目の穴は大変小さく、極めて狭い視野で舞わなければなりません。そのため、柱が自分の位置を知る大きな役割を果たすのです。とりわけ、客席から見えて左手前の柱は「目付柱」と言い、基準の柱となっています。

舞台背後の、楽器演奏者の座る所が「後座」です。天井はここに向かって低くなっているため、音響効果が高くなっています。後座から左奥へ延びている、長い廊下のような場所が「橋掛り」です。演者が出入りする通路としてだけでなく、ここで演技をすることもあり、舞台の延長となる大切な空間です。

また、松が描かれている正面奥の羽目板が「鏡板」。画面を狭くすることで、観ている人からはその松が、遠く感じられます。

そして、「撥転」と称するのですが、

といわれるようになったのは、19世紀以降のことです。

歴史を整理してみよう。具体的には、五穀豊穡と幸せを祈る「翁猿楽」というものが、鎌倉時代末期に盛んになりました。これは「能にして能に非ず」

といわれる、現在の「翁」のこと。寺社の法会や祭礼にふさわしい芸能でもあり、演じ手と寺社との結び付きが深まっています。そんな中、幾つもの演劇集団が誕生し、互いに競い合いました。こうした一つ一つの集団を「座」といいます。

す。これらの座は娯楽としての楽しい「猿楽」も行い、寺社の祭礼に奉仕しつつ興行も行いました。

「猿楽」でのノリの良い謡を工夫した親子は、奈良・興福寺を中心に活躍して一躍人気を高め、京の都に進出します。

この潮流の中、父・観阿弥（1333～84）と息子・世阿弥の親子が、活動を始めます。多彩な芸能をリミックスし

都で親子は室町幕府・三代目将軍の足利義満（1358～1408）の目に留まりました。義満は親子を寵愛、ここに、



「高砂」を舞う河村晴久師。写真提供…河村晴久 写真撮影…金の星渡辺写真場

河村晴久 能楽師 観世流シテ方 重要無形文化財「能楽」総合認定保持者
Haruhisa Kawamura

能の世界 能の力で、文化の力で、世界を平和に

戦で命を落とした侍の苦しみ、人を愛すること、親子の情愛、危機に瀕した人の振る舞い、極限状況での心とは？ これらは全て、時を隔てた私たちにとっても、共感できる普遍性を持つ主題、テーマではありませんか？ どんな時代でも能の精神は変わりません。

「四海波静にて、国も治まる時津風、枝を鳴らさぬ御代なれや、あいに相生の松こそめでたかりけれ。げにや仰ぎてもことも疎かやかかる代に、住める民とて豊かなる、君の恵ぞありがたき、君の恵ぞありがたき」

これは、能「高砂」の一節です。室町時代の大和猿楽の世阿弥（1364～1444?）によって作曲されました。「相生の松」は兵庫県高砂市・高砂神社に生える、一つの根から二つの夫婦の幹が立ち上がる松の木のこと。この松に事寄せて、夫婦愛と長寿を愛でる、おめでたい能です。結婚式で耳にされた人も多いかと存じます。

「高砂」の一節は、日本を取り巻く海が平穏であることを祈る言葉でもあります。まさに今の時代、私たちも希求する同じ祈りは、600年以上謡われてきたことになりました。

能が日本の古典芸能、伝統文化であることは間違いないのですが、今、皆さんが「能」と聞くときどうしても、現代世界とは乖離したような印象、何だか難解な芸術、という印象を持たれてしまうようです。しかし能は、いつの時代の、どんな時代の人の心にも響き合うものを持っていたからこそ、感動があり、普遍性を備えているからこそ、現代に受け継がれ存在するものなのだ、と能楽師である私は考えてきました。

能が生まれるまで

人類が描いてきた古い時代の壁画を見ると、収穫への感謝や未来への祈り、感動の表現が描かれていることに気付きます。このような人間の感動、悩み、祈りの表現は、文化や芸術の根源です。

また、人の力ではどうにもならない自然の前にするとき、大いなる自然に対して畏敬の念を抱き、幸せを祈ったのが太古の人たちでした。そんな祈りの言葉に節が付き、リズムが付き、そして身体を動かせば楽しくなります。これこそ芸能の始まり。宗教性と娯楽性は、芸能を支える二つの要素です。

さて、日本列島には、古来、大陸からさまざまな文化が伝わってきました。芸能ではまず伎楽、そして舞楽が公の場で行われるようになります。

一方、民衆には同じく渡来してきた唐散楽がもてはやされます。これは純粹な芸術表現というよりは、奇術、手品、軽業の類いの色合いが強く混じった、楽しい芸能です。時の流れと共に、やがて唐散楽は中世になって「散楽」「猿楽」といわれるようになり、民間の芸能としての地位を確立します。この流れが、現在の能へとつながるのです。

ちなみに、能は江戸時代まで猿楽、猿楽能と呼ばれ、狂言と共に「能」「能楽」

SPEECH 4 65

能の世界 能の力で、文化の力で、世界を平和に

能楽師 観世流シテ方 重要無形文化財「能楽」総合認定保持者 河村晴久

この人訪ねて 9 60

青柳修次 さん 燕RC(第2560地区)

記事・村井重俊 撮影・佐藤 敬

Food for Thought 日本人とお米のはなし 13 56

続・日本酒で乾杯! 久保田英男

ロータリー 俳壇 ◆夏井いつき 選 14 55

ロータリー 歌壇 ◆佐佐木幸綱 選 14 55

ロータリー 柳壇 ◆三遊亭白鳥 選 14 55

友愛の広場 16 53

「へそ」つながりで友好クラブ締結へ 西脇 井上勝彦

アメリカ人のRー会長代理と続く心熱い交流 寒河江 遠藤伸一

米山奨学生カレンさんの快挙 福井西 中村敏雄

懐かしさに包まれたホームカミングデー 人吉 春木 顕

ロータリーファミリーの集い 瀬戸 刑部祐介

「あいと地球と競売人」に思う 隠岐西郷 高井初子

◆うちの子

卓話の泉 20 49

サクラ 上田東 後藤正直

私の一冊 20 49

『思考の整理学』 長岡 高野 裕

声 11月号の感想 21 48

今月号の表紙

— 多才な障害者アートをお届け

雨が静かに降りそそぐように、
インクと水を和紙にしみ込ませて描きました。

支援スタッフ代筆

みずみずしくて、本当に雨だれが跳ねている音が聞こえるよう
です。

暖かい色も混じって春の予感を感じさせますね。

アートディレクション・五十嵐仁之



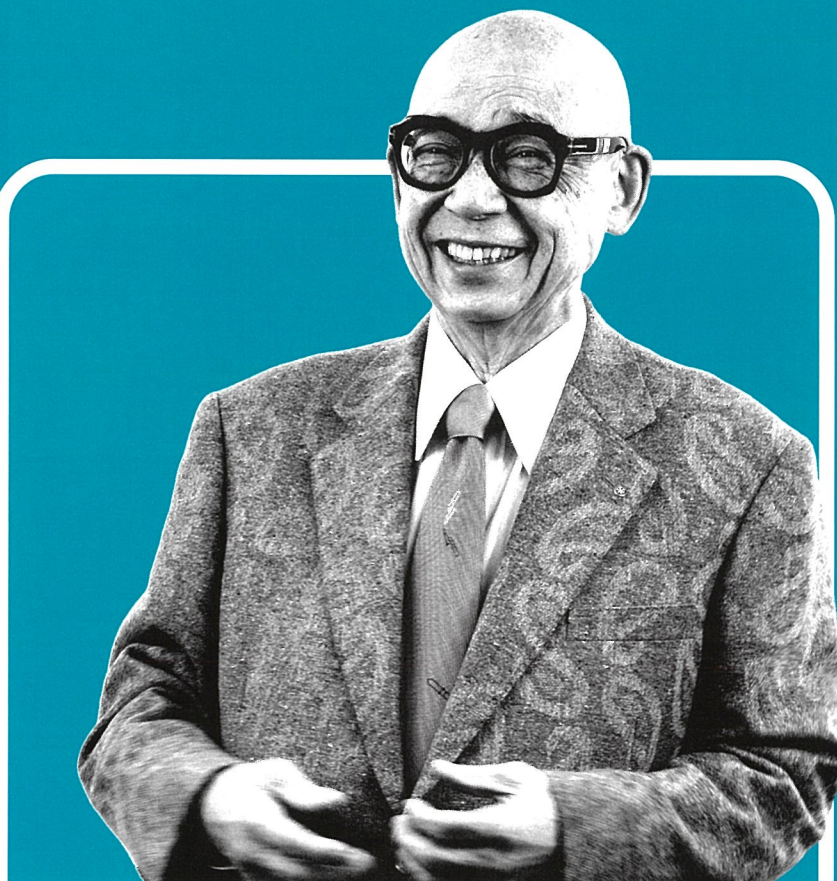
雨音

イラストレーション

にじの会 / 佐々木健さん
東京都三鷹市380×540mm
和紙、カラーインク

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5958(編集部) / 03-3436-5956 (管理部)
hensyu@rotary-no-tomo.jp (編集部 / 本誌の内容・投稿)
keiri@rotary-no-tomo.jp (管理部 / 購読・注文)
https://rotary-no-tomo.jp◆横組みの目次は、反対側の表紙を開いたページにあります。
◆本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。



子どもたち 世界に 羽ばたく 我が家から



電子版は毎月1日に最新号公開。
創刊号から全て読めます。



ロータリーの友

電子版ご利用時の注意
購読のためのID・パスワードはクラブ事務局へご確認ください。
電子版は購読料をお支払いされている期間のみ閲覧いただけます。

www.tomo-archive.net



ロータリーの友

Rotary

JAPAN

www.rotary-no-tomo.jp

2

2024

February

SPEECH

河村晴久さん

能の世界

能の力で、文化の力で、世界を平和に

この人 訪ねて

青柳修次さん

燕ロータリークラブ

Rotary

